

の

…の 文節末や文末に有って 語調を整えたり、咏嘆の
気持を表したり 念を押ししたりする。(伊賀地方) [会
話] 行けノ、あすこい行けノ そやあら (それ) 言う
て、此れ喰えノ言うて。此れ食べて下さい言うて 推
めるのを 喰えネノ言うのな (のです)。持てこいノ
てやら (とか) 行けノてやら 言うて 後で ノな
(が) つくノ、命令したり、喰えノ言うて 推める時
も有るしなあ (有ります)。

のあおこな。のあおこら 【名詞】 嫌な人 嫌な子供 あ
のおこがを隠語化したもの [会話] にげ (人間) で
も こえんして (こんなにして) 居っても ノアオコ
ナ すかんなあ (嫌だ) 言うて、好かん 人なあ (で
す)。好かん子 言うのを ノアオコナ や (だ) 言
よおったね (言うて居たのです) 普通やと (だど) お
こ (子供) 言うだけやけど (だが) 好かん よおな
こおは ノアオコナ言うて。

のあがり (野上) 【名詞】 米、麦などを収穫し終わる事、
又その後の休日 (志 (船越、神明、立神、志島、甲
賀、国府、安乗)、桑郡、桑市、員、四、鈴市、安、
津、一、飯、松、多、阿、張、名、度、北) [会話]
田や畑でも その仕事な (が) 終るとノアガリ。

のあげ 【名詞】 縫上げ (一、阿、名) [会話] 縫いあげ
言うてなあ、肩ぬやげとか 腰ぬやげ言うのをなあ、
ノアゲ言うの (のです)。ノアゲせな (しなれば)
言うて、そやれ (それ) 肩ノアゲな (が) 取れとられ
(ている) 言うて、ノアゲな (が) はずれてて (てい
つて) 言うてなあ。引つ張りやい (あい) するもんで
(ので)。縫いあげ言うのを、ノアゲや (だ) 言うね
(言うのです)。昔や (は) きもん (着物) も なあ
がい目 (長い目) ん (に) しとかな (しておかなければ)
言うて 毎年 買わな (なければ) はざん (いけ
ない) よって (から) 言うてなあ、なあごお (長く)
しといて (しておいて)、ノアゲして 着せてな、ら
いねや (来年は) また ノアゲおろさな (なければ)
はざんわれ (駄目だ) 言うて 年ごと おろしてな
あ。

のあらし 【名詞】 野菜泥棒 畠の野菜などを盗む事、又
その人 [会話] 畑もあらす (盗む) 言うて 畑あら
し (畑泥棒) 言うて 一番罪な (が) 重いねどお (の
だ) 言うて ノアラシの事。

のいで 脱いで (志、三、鈴市、安、松、阿、名、度)

[会話] きもん (着物) 脱ぐ言うのをなあ、きもん
(着物) ノイデ言うて、きもん (着物) も あっつい
(暑い) のおに (のに) ノガンカレ (脱ぎなさい) い
つもかも (いつも) そげん (そんなに) きむくつとら
んと (多く着ていなくて) ノガンカレ 言うて。

のいどく 脱いでおく

のいのい すくすく ずいずい ノイノイのびる

のお (のう) 【代名詞】 儂 お前 (志 (立神、越賀、浜
島、神明、甲賀、安乗)、鳥、度) [会話] ノオ言う
な (のは) あんたとか、お前とか、言うのを、ノな
(が) 言うのなあ (のです)。目下の人に のげや
(お前の家は) 言うて、上の人にや (には) のげや
言わせんけど (言わないが)。あねよ (姉さん) のげ
のなれとか 親しい人や (とか) 目下の人に使う言葉
や (です)。

のお (能) 【名詞】 能 能力 [会話] 働くだけで な
んも (全く) ノオは無いね (無いのです)。

のお 【名詞】 野原 畑 (志、桑市、三、鈴市、鈴郡、一、
久、松、上、阿、張、名、度、伊、北)

のお (のう) 1) なう 2) 縫う (志、鳥、員、三、鈴
市、鈴郡、安、一、松、上、阿、張、名、度、伊)
[会話] ¹⁾ しだて縄言うて ざらざらっと ノオタの
(のを)、巻きつけるやんな (でしよう)。

…**のお (のを)** 所有物 おんなノオ (俺の物)

…**のお (なう)** 【接尾語】 語句の切れ目にあつて、軽く
感情を沿える ねえ なあ です あんノオ、ナの転
(広辞苑) (三重県)

のおいき 【名詞】 慣性 惰性 (志 (志島)) [用例] お
っきい (大きい) 船は ノオイキな (が) ついとて
急に 停らせん (停らない)。

のおかい (のうかい のうくわい) (農会) 【名詞】 農
業協同組合 [会話] 農業会 ノオカイの総会や
(だ)、今日は。ノオカイえ行てこな (来なければ)
言うてなあ。何処でこおて (買って) 来たんど (来ま
したか) 言うたら ノオカイで言うてなあ。

…**のおかい (のうかい)** のですか [会話] 今から そ
の仕事すん (する) ノオカイ言うて、畑い (へ) 行き
な (時) 戻りな (時) 逢うと、行くノオカイ言うて、
はあい言うて。行て来たノオカイ言うて はあい言う
て。おんのかい、行くのかい、たれんのかい (小便す
るのですか) 言うて 後の言葉なあ (です)、するん

(の) ですか、して居るん (の) ですか言うのを すんのかいとか、おりますか言う事をなあ おんノオカイ言うのなあ (です)。

のおがき (のうがき) 【能書】 【名詞】 説明 言い訳 [会話] こや (此は) 海女の鱗や (だ) なんちやら (何とか) 言うて ノオガキ 言うて。

のおぎょお (のうげふ) 【名詞】 百姓仕事 老人などが 畠仕事をする事を最近言う

のおげ (のうげ) 【名詞】 効果 効力 能気 [会話] ノオゲな (が) 消えた言うて、効能が有るうちに (間に) 言う事を ノオゲな (が) 有るうちに せなはざんわれ (しなければいけない) 言うて。なんか (なにか) ごっつお (御馳走) でも、ノオゲな有るうちに せな (しなければ) 言うて。 はり薬 (貼布薬) でも長い事 張っとると (て居ると) ノオゲな (が) 無い よおん (ように) なった言うて、そいな時や (は) 効き目な (が) 無いとか、効能な (が) 無い言う事を、ノオゲや (と) 言うの (のです)。

のおげ (のうげ) 【名詞】 お前の家 のげ参照 (志 (立神、安乗))

のおさく (のうさく) (農作) 【名詞】 田、畑を耕して農作物を作ること。 [会話] ノオサク言う時は 畑やたあ (田) の仕事すること

のおする (のうする なふする) 失う なくす [会話] まあ、どこやらい (何処かへ) ノオスル言うてなあ、ふてたたんよお (無くしてしまった) 言うてなあ、なんか (なにか) ノオスルト。

のおた 縫った ぬう 縫う 糸を通した針を布などに繰り返して刺して、その糸で布をつなぎ合わせる。 [会話] 縫うの (のです)。縫うのを、ノオタ 言うね (言うのです)。だれ (どれ) ふくろべ (破れ ほころび) ノオタロン (縫ってやろう) 言うて。きもん (着物) ノオタロン (縫ってあげましょう) 言うて、布団ももてこい (持って来い) おんな (俺が) ノオタルワ (縫ってやる) 言うて。

のおだ (のうだ) 1) 飲んだ (志、度) 2) 脱いだ [会話] 1) 飲む事を ノオダ、酒ノオダ なんもかも (すべて) ノオダタナイ (飲んでしまった) そこらん (に) 有るもん (物) を 全部食べたても (食べてやつても) なんもかも ノオダタネナイ (飲んでやつたのだ)、まるのみん (に) したたない (してしまった) 言うて、嘸まんと (ずに) まるのみん (に) したたない 言うて。酒ノオダリ 人の言葉でも 嘘 言うても それ まとも (本当に) に聞くと あや (あ

れ) まるのみん (に) しとんね (して居るのだ) 嘘 言うても言うて、それ ノオダ言うのなあ (のです)。あんな (彼は) またい ねよって (のだから) まるのみん して ノオダタ (飲んでしまった) 言うて。またい言うな (のは) にげ (人間) な (が) いちがいな にげを あや (彼は) またい ねよってん (のだから) 言うて、ちよいと (少し) 寸足らず (馬鹿) やわい (です)。2) ノオダ言う時は、着物 脱いだ。きもん (着物) ノンダレ (脱いでやれ) きもん (着物) ノンドイテ来た言うて ヌンドイテ来た言うの (のです)。きもんも 暑いもんで (ので) 一枚ノンドイテ来た 暑うて (熱くて) ノオダよお言うて。

のおだだ。のおだたない。のおだたれ 1) 飲んでしまった のおだ参照 2) 脱いでしまった

のおだたわい 1) 飲んでしまいました 2) 脱いでしまいました

のおだり (のうだり) 飲んだり ノオダリ くうたり (志)

のおたりん (のうたりん、なうたりん) 【名詞】 馬鹿 (志 (布施田)) [会話] 人がぬるい (馬鹿な) のものだ。ちよいと (少し) ノオタリンの事をなあ。

のおだる (のうだる) 1) 脱いでやる 2) 飲んでやる [会話] 2) 嘸まんと (嘸まずに) ノオダルの (飲んでやるのを) ぐら飲み (まる飲み) ん (に) するとか まる飲みん (に) するとか言うて。

のおたん (のうたん) 【名詞】 1) 馬鹿 (志 (志島、甲賀)) 2) 頭 のおてん参照 (志 (布施田、片田、浜島)) [会話] 2) ノオタンな (が) わり (悪) ねよって (のだから) 言うて、あんごしと (阿呆だと)。あんごし のおで (ので) ノオタンな (が) わり てやら (とか)、あんごし事 すると ノオタンよ言うて、1) 阿呆よ言う事を ノオタンよ言うて 阿呆の ノオタンよ言うて、その時は ものすごお (ものすごく) 子供な (が) わり事 した時や (は) 阿呆の ノオタンよ言うなあ (言います)。

のおて (のうて) 1) 縫って下さい 2) 縫って [会話] 1) 縫うて 呉れ 言うんなし (言うのですし)、ノオタロカ 言うと 人ん (の) のおを (のを) ノオタル (縫ってやる) 言うんなし、わがと (自分) 縫うな (のは) 縫うたるわ (縫ってやる) 言うて。ノオテ言うと 頼む事 ノオタル 言うと したる (してやる) 言う事。

のおて (のうて) 無くて [会話] なんもノオテ (何も無くて) 来てもおたけど (もらったが) 汁と飯だけや

わい (です) 言う時も 有るし、なんもノオテ ごつ
つお (御地走) な (が) なんも ねえ (無い) のに
来てもおて 言うのを なんもノオテ。なんもノオテ
来てもおて (貰らつても)、なんでも (何でも) 有る
もん (物) 喰てくれえ (食べて下さい)。

のおで (のおで) 飲んで (志、鳥) [会話] 酒ノオデ
酔おて あの人な (が) 言うてなあ、飲む事を ノオ
デ 言うの (のです)、きもん (着物) は ノンデ
(脱いで) きもん (着物) ノンドケ (脱いでおけ) パ
ンツも ノンデ (脱いで) 洗えまあ (洗いなさい) 臭
いわれ (です) 言うてなあ。

のおで 脱いで

のおで ので

のおておつて 無いのに [会話] じばん (襦袢) 今し
(今) の人ら (は) ちゃんちゃこ言うて、昔のじばん
や (です)、袖の無い。じばんの袖振れ 言うて ノ
オテオツテ 有ったふり (格好) する人は じばんの
袖振れ言うて。

のおても (のうても) 無くても [用例] そいなもん
(そんな物) ノオテモ じよつとやれ (構わない)。

のおでも (のうでも) 飲んで [用例] いくら 酒
ノオデモ しゃんとしとる (して居る)。

のおてん (のうてん) (脳天) 【名詞】 頭頂 [会話] ノ
オテン 頭の ノオテン てっぺん (頭上)。ノオタ
ン 言うのも 一緒やわい (です) 頭のてっぺん ノ
オテン言うし。

**のおてんき (のうてんき) (脳天気、能天気、能転気、
脳天播) 【名詞】** 気楽な 軽薄で有る事 向う見ずで
有ること 又そのさま そのような人 (飯) [会話]
ノオテンキなねよつて (なのだから) 言うて、のびと
る事を。あや (彼は) ノオテンキなねよつてなんもか
も おおぞらし (雑把) で いつまで あげん (あんな
に) しとる (して居る) 言うて、のびとる にげ
(人間) を のんきな人を。ノオテンキ 言うて、な
んも (少しも) いらいらせんと (せずに) 無頓着 (気
にしない) ん (に) しとると、ノオテンキなねよつて
だ せんとおんない (せずに居る) 言うて なんやか
や せんならん事でも のびのび しとると (して居
ると)。おおぞらし言う と とんじやくな (が) 無い
事 おおぞらしな (だ) 言うの 無頓着な にげ (人
間) を おおぞらしな 言うて。

のおど 【名詞】 喉 [会話] しょっかるおて (塩辛く
て) ノオドな (が) いきったよお (いらいらした) 言
うて、なんか (なにか) しょからい (塩辛い) もん

(物) 食うと (食べると)。

のおとく (のうとく) 1) 縫っておく 2) 編んでおく
[会話] な (縄) を ノオトク とか、きもん
(着物) も ノオトク言うて 縫う 言わんとなあ
(言わずに) な (縄) もなあ、のわな (なわなけ
れば) はざんわれ (駄目だ) 言うやんない (言うでし
よう) きもんも そや (それ) ふくろべとられ (ほ
ころびている) ノオトケ 言うてなあ。

のおどく (のうどく) 1) 脱いでおく 2) 飲んでおく

のおどけ 1) 脱いでおけ 2) 飲んでおけ [会話]
脱んどけ (で)おけ 言わせんねんな (ないのです)。
てえねん (丁寧) に言う ひた (人は) 脱いどけ (で
おけ) 言うけど (が)、土地の にぎや (人間は) ノ
オドケ言うてな。酒も飲むのもなあ 酒もノオドケ
言うね、水も ノオドケ 言うしなあ。きもん (着
物) は ノンドケ (脱いでおけ) やんかい (です) 風
邪引いた 薬も ノンドケ (飲んでおけ) 言うてなあ、
ノオドケ 言う時も 有るけど、ノンドカナ (飲んで
おかなければ) はざんわれ (駄目だ) まあ言うて。昔
は みな ノオドケ やなあ (です) ノンドケ 言う
な (のは) 今し (今) やわいなあ (です)。ノンドケ
言う時は 脱げと 飲め 言う時と 両方 有る訳や
(です)。

のおとこ 【名詞】 お前の所 お前の家 (度)

のおとこ 1) 縫っておきなさい 2) 縫って置きます

のおなし (のうなし) (能無) 【名詞】 働きの無いこと
又その人 馬鹿

のおなしぎる (のうなしぎる) 【名詞】 無能の人

のおない (能無) 無能で有る 取る所が無い (志 (布
施田))

のおならかず 失う 無くす

のおなる (のうなる) 1) 無くなる なるに動詞なるの
ついたもの (志 (鶴方、立神、志島、甲賀、国府、安
乗)、鳥 (答志)) 2) 亡くなる 死ぬ [会話] い
よん (ように) なつた (なつて行った) 言うの
(のを)、ノオナル。なんも (全く) ないよん なつ
てたれ (なつて行った)。

…**のおに (のうに なるに)** のに、だから【接助】既定
の逆説条件を表す意味。内容の対立する二つの事柄を
意外 不服の気持を込めて表す。【終助】意外な結果
に対する恨み、不服の気持を表す。相手の非を責めな
じる気持を表す。[会話] あれ しとた (して居た)
ノオニ あの人な (が) 来て なんも (少しも) 出来
らつた (なかつた) とか、此れ しとたノオニ こん

だ(今度は) 此れせな(しなければ) はざんよおん
(いけないように) なって来た 言うて 此れ しと
たノオニナレ言うて。

のおのお(のうのう なうなう)【副詞】 1) 横着なさま 2) のんきなさま [会話] ② ノオノオ しとる
(して居る) 言うのは 呑気にしとる(している) 言う事。 なんも(あれも) せんならんのん(しなければいけないのに) あげん(あんなに) ノオノオと しと
んねない(して居るのだ) 言うて。 のびとんねない
(て居るのだ) あれも せなはざん(しなければいけない) 此れも せんならん(しなければいけない) おもとんのん(思っ
て居るのに) ノオノオと あげん
(あんなに) 喋って言うて、ノオノオト あげん 呑
気にしとる 言うて。

のおのおと(のうのうと)【副詞】 1) 図太く、横着な
さま 鉄面皮 のおのお参照 2) ゆっくりしている
さま (志(布施田))

のおばい(のうばい、なうばい)【名詞】 脳梅毒 脳膜
や脳の血管が梅毒病変を生じておこる精神障害 [会
話] 脳梅毒 言うんかい(言うのですか) ノオバイ
言うて。

のおびよお(のうびょう、なうびやう)【名詞】
脳が犯される病気の総稱 [会話] ノオビョオ 言う
な(のは) 脳な(が) わり(悪い) 人を、あや(彼
は) ノオビョオで 病院 いとんねてわれ(行って行
るそうだ) 言うてなあ。頭の病気すると、あや(彼
は) ノオビョオやてわれ(だそうだ) 言うてなあ。

のおびよおいん(のうびょうういん なうびやうん)
(脳病院)【名詞】 精神病院

のおべん(のうべん)【名詞】 よく喋ること 喋
べるのが上手なこと [会話] あや(彼は) ノオベン
やなあ(だ) 言うて 口な(が) 上手な 人をなあ。
あのひた(人は) ノオベンで ほんどん(本当に) あ
の人な(の) 言うこた(事は)、まあ くずな(が)
無いわれ(です) 言うて よお(よく) 言うんかい
(言います)。頭な(が) よおて(よくて) 賢い事
喋る人をなあ(です) ノオベンや 言うのなあ(で
す)。あんごし(馬鹿) 事を 喋る ひたなあ(人
は) あやまあ(彼は) かるこべ(軽頭、馬鹿) やれ
(だ) 言うてなあ。

のおみそ(のうみそ なうみそ)【名詞】 脳
髓の俗稱 転じて頭の働き 知力(志(布施田)) [会
話] ノオミノな(が) よけ(沢山) 有って 賢こ過
ぎて まあ まいてたね(て行っただ) 言うて、有

り過ぎてても はざんね(駄目なのです) 言うて。馬鹿
と天才 紙一重言うて 馬鹿なもん(者)と 賢いも
ん(者)は 紙一重や。じっきん(すぐに) 気違いん
(に) なつた(なつていった) 言うてなあ。

のおやそおや お前や俺や、我勝ちに [会話] 百姓の
うち(家) や(は) 貴方や そなたや 言うところかい
(言つて居ません) ノオヤソオヤ これや言うて。

のおらい(のうらい なうらい、なほらひ)【名詞】 神前に供えた神饌を下げたもの 直会(なほら
ひ)(志(志島、甲賀、国府)、張) [会話] ノオライ
言うんかい(言います) 宮さん(御宮さま) やどけ
(など) 参つて 御神酒 頂くのを、ノオライ頂いて
こな(来なければ) 言うて。敬老の日やどけ 行くと
御神酒 注いでくるやんない(でしょう) あれを ノ
オライ。

のおらぎ【名詞】 魚 まかじき かとくい かじき参照
(志(浜島)、上、阿、伊、南、熊)

のおんとする 1) ぼんやりする 2) 意識が薄れる
[用例] ① あんまいもん(甘い物) よけ喰うたら(沢
山食べた) ノオントスル。

のが お前の物(志(立神)) [会話] こや(これわ)
ノガやなあ(です) 言うて、おや(俺は) わがね(自
分の物だ) おもて(思つて) 入れ込んで 来たや
(ら) ノガやなあ 言うて。お前な(の) の(もの)
言うのを ノガやなあ 言うて。俺がや(俺の物だ)、
わがの(自分の物) おれがやんかあ(俺の物だ) 言う
て。こや 俺がやんかあ 言うの 俺がやのん(だの
に)、のな(お前が) 持つとたんか(持つて居たの
か) 言うて、こや(これは) ノガの やつたのん(だ
つたのに) おんなのん(俺ののに) いっどんねよお
(入つて居るのだ)。わがのお(自分の物) 俺が(自
分の物) や(だ) 言うて、ノガや(とか) 俺がや
(だ)。

…**のが** 文末に有って疑問を表す のですか(三、鈴市、
松、多、尾、北)

…**のかい** ですか …のおかい参照(鈴市)

のかいなあ 文末に有って疑問を表す だろうか(鈴
市) [用例] なつとしても(どうしても) 行かな(な
ければ) はざん(駄目) ノカイナア。

のかかす 除く 仲間外れにする

のがかす 逃す

のがかす 脱がす

のかしたれ 仲間外れにしてしまえ

のかす(退)【他サ五】 仲間外れにする(熊)

のがす (逃) 【他サ五】 逃げさせる 捕えそこなう ノガル (逃) の他動詞 次項 のがす参照

のがす (脱) 脱がす (鈴市、上、阿、伊) [会話] きもん (着物) ノガス、脱がす 言わんと (ずに) ノガス。きもん ノガシトケ (ておけ) 言うたりなあ、ぬすつと (盗人) を 見ノガス あの人な (が) 来たけど (が) 見ノガシトカナナア (しておかなければ) 言うたり、逃げて 捕えなかった言うのと 着物脱がす言うのと。

のかな 退かなければ [用例] 早よ来たもんから (早く来た者から) ノカナはざんなあ (いけない)。

…**のかな** ですか (鈴市) [用例] 伊勢行くノカナ。

のがな 脱がなければ

のがまい 脱がない 脱ぎたくない [用例] ええきもん (よい着物) 着せたら ノガマイ言うて。

のがらかしてもおて 逃げさしてもらって まぬがれて [会話] 神さんへ たのんで 悪事 災難 ノガラカシテオクレ (下さい) 言うて頼む まあ神さんのお陰で どいらい (大変) 災難 ノガラカシテ モオタンヨオ (貰いました) 言うてなあ、こけて (転んで) 足でも くじいたんのん (骨折するのに)、なんも (少しも) くじかんと (かずに) こけた (転んだ) ままで するやんない (でしよう)、そすと (すると) まあ そげん (そんなに) 言うのなあ (です)。神さんへ 信心しとる (している) お陰で 災難 ノガラカシテモオテ言うて。

のがらかす 【他サ五】 逃がす 捕えそこなう [会話] ノガラカス。ノガラカシテモロタ (貰らった) 言うてな。逃げさしたた (させてやった) 言うて、知つとんねけど (ているのだが) 知らんふりして逃がしたた (てやった) のな (です)。ノガラカス言うて。

のがらしてもら 逃がして貰う まぬかれる [会話] 悪事 災難 ノガラシテモラウ。一年中 病気せんと (せずに) する (居る) 言うて。

のがらす 【他サ五】 逃がす

…**のがかれ** ですか 文末に有って、疑問を表す。行くノカレ (行くのですか) (尾)

のがれる (逃) 【自ラ下一】 逃がれる まぬかれる [会話] 鯨に 飲まれんのおを (まれるのを) ノガレルよおん (ように) 言うて 詣いんねけど (詣いるのだが)。

のかん 退かない

…**のかん** のですか [用例] 病院行くノカン

のかんかい。のかんかな (女性語)。のかんかれ 退き

なさい [用例] 道のまんなかん居らんと (中央に居ずに) 端い (に) ノカンカレ。

のがんかい。のがんかな (女性語)。のがんかれ 脱ぎなさい [用例] 暑なって来たのん (のに) 一枚 ノガンカイ。

のき (軒) 【名詞】 家の庭先 ひさしの下 [会話] ノキい (へ) 入れとけ (ておけ) 言うて、庇の事を ノキヤ (だ) 言うのなあ (のです)。庇の下のノキい (へ) なんもかも (何も彼も) やつとかな (ておかなければ) 今夜 雨な (が) 降るやら (か) 判らせんど (判らないぞ) 言うて、ノキい (へ) やつとけ (入れておけ) 言うて。庇の下の所 ノキヤ (だ) 言う。ノキい (へ) 割り木積んで言うて 昔空 (は) ノキい (へ) 割木を 天井い迄 (へ迄) 積みおったの (積んで居たのです)。

のぎく 【名詞】 野草 よめな、嫁菜 (志、鳥、伊)

のきさき (軒先) 【名詞】 家の戸口の前 軒の先端の部分 [会話] ノキサキ 縁の先の方な (です)。屋敷先とか ノキサキ 言うてな 出て すぐのとこ (所) を なあ、縁先やか (だとか) 庭先ん (に) 置いて有るやんない (だろう) 言うて、よお (よく) 言うやんかい (言います)。

のきしお (のきしほ) (退機) 【名詞】 退くのに都合のよい時 退く時

のきどおろ (のきどろう) 【名詞】 飾り灯籠 盆など軒に吊す飾り提灯 [会話] 盆やどけ (など) 軒い (へ) ぶらくるのおお (吊すのは) ノキドオロヤ (だ) 言うけどなあ (言います)。

のきばた (軒端) 【名詞】 のきさきに同じ [会話] 昔や (は) のきい (へ) みな (なにもかも) なんもかも置くのでなあ、庇を なあごお (長く) してなあ 畑から もて (持って) 来ても ノキバタイ (に) やつとけ (置いておけ) 言うて、なんもかも (すべて) 皆ノキバタイ 置きおったね (居たのです)。

のきわ 【名詞】 仕事の終りの時に行なう宴会、忘年会、打ち上げ [会話] その年 一杯 仕事して 今年は こんで (此れで) しまいに (終りに) しょおや (しよう) 言うて 別れる時、ノキワ。

のく (退) 【自カ五】 よける 退く わきへ移る どく 脱退する 離れた場所にある 離れて居る [会話] 其処い (へ) ノケマア 言うて、かたつら い (一方、横の方へ) よれ (寄れ) 言うのを かたつらい、寄れとか そっちゃい (そちらへ) 寄れ言うの (のを) ノケマア言うて。ノク おんな (俺が) ノクよって

(から) 此処い(へ) 来い 座れ言うて。その場所から 離れると。場所から 離れるだけやなしん(でなくて) 組から ノク ノイテクワイ (のいて行きます) 言うて。のけといて (ておいて) くれえ (下さい) とか。かくれんぼ しても ノイタ 言うて しよ おったやんかい (して居たで有りませんか)。ひにげに やに (だぞ) 言うて (言っておいて) しといて 遠おのいた言うて、そや (それ) お前、ノイタねんな (のだ) 言うて。はあ (半端) になって来ると、人を ノゾケルよおん (除くように) となると ひにげに やに 言うて しといて (しておいて) ノイタ 言うて。ひにげに やに こおこおに 遠おのいたとせ 言うて言うて お前、ノイタ 言うて お前のけ 言われやせんも んで (言えないので) ひにげに しよおや (しましよ) 言うて そして 当たもん (者) な (が) ノク事ん (に) しよおったやんかい (して居たで有りませんか)。場所を ノク のを のいた言うて、会から ノケテもらわな (なければ) 言うて。去る時は ノケテもらうわい (もらいます) 言うて 言う人も有るし、ぬける 言う人も有るし、ノイタねよお (のいたのです) 言うて、やめた言う事を ノイタねよお。あの会へ 行きおったけど (行って居たが) 私や やめたんやわい (やめました) 言うの、わしや (私は) ノイタんやわ (のきました) のけもんに おおて (逢って) 言うて 嫌われると のけもん (退け者) に おおて 言うて。わしら (私は) いつ いたてて (行って) も のけもん やもん (だから) 言うて 相手ん (に) しやれんと (されないと) のけもん や (だ) 言うて。

のぐ(脱ぐ)【他力五】 身につけた物を取り去る ぬぐの訛 (志 (片田、浜島、御座、布施田、鶴方、神明、立神、志島、甲賀、国府、安乗)、鳥 (鳥羽、加茂)、桑市、員、三、鈴市、安、久、一、松、多、上、阿、張、名、度、伊、北、南) [会話] 着物 脱ぐ事をノグ。おや (俺は) 一枚 ノンドイテキタ (脱いで来た)。着物も ノンドケ (脱いでおけ) 暑つかったら ノンドケ 言うて。おや ノンダレ (脱ぎました) 言うね (言うのです)。一枚つ ノガナ (脱がなければ) はざんわれ (いけない) ぬくたいよつてん (暖いから)。脱いだれ (でやれ) 言うの の (の) ノンダレ 言うね。下駄も ノンダリ 履いたり 足袋もノグ。
 …**のくい** しにくい [会話] 仕事が しにくい事を しノクウテ (しぬくくて)、こや どいらい (大変) むつかして (困難で) しノクイわれ (です) 言うね

(言うのです)。しにくい事を しノクウテ どいらい むつかして しノクイよお 言うて。

のぐう ぬぐう (のごふ) (三) のごう参照
のくぞ【名詞】 横着者 [会話] のぶともんやわい (横着者です) ノクゾ 言うのは、おっちやくよも (横着者) は おっちやく (ふてぶてしい) な のおを のぶといたか しぶといたか 言うて、おっちやくよも よ (奴)、のぶともな (奴め) 言うて。ものすごお (ものすごく) 横着な のおを (のを) のぶともな (者は) 言うて、のぶともんやよつて (だから) おとしがらせんのを (怖がらないのを) のぶとおて (たくて) おとしがらせん 言うて。おっちやく な しぶといたか の (のを) あのか (子は) のぶとおて (たくて) 言うて。

のぐそ(野糞)【名詞】 野外で糞をすること またその糞 (阿、張、名、北) [会話] 山い (へ) いて (行って) たれんのを (するのを) ノグソ 言うて。ばば (大便) の這うのは 今が 見始め言うて。亀のごおた (甲) い しば (落ち葉) な (が) 落ちとんの (ているのに)、それ しば (落ち葉) や (だ) おもて (思って) その上い (へ) 糞 たれたや (したら) まあ ぬくたい (温い) のおで (ので) 亀な (が) ごそごそ 這い出して 来たんて (そうです)。そしたら その人な (が) びっくりしてなあ (驚いて)、ああ 長長と 長の道中 するけれど ばば の這うのは 今が 見始め 言うて。山い (に) 行くとなあ しとなつて (したくなくて) 来るとなあ 何処いでも 人目のつかんとこ (所) い (へ) 行て (行って) 皆 するわい (します) 山 遊びん (に) 行たや (行ったら) はこ (大便) な (が) しいとなつて (したくなくて) 来てなあ したねけど (したのだが) 尻拭きな (が) 無いやんない (でしょう) 里芋のはあ (葉) や 茨のはあ (葉) で 拭いてなあ。

のけ 退け (志 (立神))
のげ【名詞】 貴方の家 農家 の参照 (志 (布施田、立神)、鳥)

のげ 脱げ
 …**のけた** 動詞についてその行動をしてしまった意を表す してノクタ [会話] まあ えらい (大変な) 事 やつてノクタ 言うてなあ 茶碗 うちやつて (壊して) ノクタヨオ とか 皿 うちやつて ノクタヨオ 言うてな 大事のもん (物) を うちやると (壊してしまうと) えらい (大変な) 事 やつてノクタヨオ (してしまった) 言うて やつてノクタ 言うて し

てノケタてやら (とか)。
のけといてくれ。のけといてくれえ 除いて置いて下さい
のけもん【名詞】1) 除者 仲間から遠ざけられる人
仲間はずれ 2) 除物 多くの中から取り除いた物
[会話] 1) あの会へ 行きおったけど (行っていました
が) わしゃ (私は) のいたんやわい (やめたので
す) ノケモンに おおて (あって)。

のける(退)(除)【他カ下】1) しまう 片付ける
取り除く 2) 仲間外れにする [会話] 1) ノケル、
そんな (それが) 邪魔やよって (だから) ノケタレ
(てやれ) 言うて。にげ (人間) でも 多いよって
(から) 一人ノケル 言うて 言うのも 有るし (有
ります)。片付ける 言うねなしに (言うのでなく
て) あらけたる (広げるてやる) 言う事やなあ (で
す)。そこん (そこに) 置いてあんの (有るのが) 邪
魔ん (に) なるよって ノケタレ 言うの (のを)、
あらけたれ言うて。あらけたれ、片付けん (る) のお
と (のと) 又 違うね (違うのです)。片付けとけ
(ておけ) 言うと えごつと (充分に) 整頓しとけ
言う事なし (です)、ノケル 言うな (のは) 場所
を移す事を。のけたろや (てやろう) 言うて、2) 仲間
はずれん (に) すんのを (するのを) ノケルとか ノ
ケタタ (てやったとか)。魚とて来て (採って来て)
おっきいな (大きいのは) ノケトケ わがとらな (自
分達が) あたんのん (当るのに 取り分にするのに)
言うて、人らん (に) やんな (やるのは) 勿体ないわ
れ (です) おっきいなあ (の) だけ ノケトイテ (て
おいて) そや (それは) 後で わけや (わければ) え
えわれ (よらしい) 言うて。

…のける 動詞を受けて その動作を行なう意を表す
のけた参照 (志、鳥、一、多、度)

のげる(脱) 脱げる 着物、下駄などが身体からはなれ
る (志 (浜島)) [会話] ノケル ひとり (自然に)
のげてくの (のは) 靴下な おっきいて (大きくて)、
下駄な (が) ノケル言うて わがと (自分で) のぐな
(脱ぐのは) のんだ 言うて。

のこ(鋸)【名詞】のこぎり のこぎりの略 (志 (布施
田)) [会話] 鋸 言わんと (言わずに) ノコ 言う
て。ノコ もて (持って) 来い 言うてな はんぶ
(半分) より 言わせん (言いません)。

…のこ ですか (志) [会話] やつとんノコ 言うて
飯 くとんノコ (食べているのか) まだ言うて。

のごいおって 拭いて居た [会話] 目汁 (涙) な

(が) 出てくると 手拭で ノゴイオツタ。

のごう(のごふ)【他八五】ぬぐう 拭う ふいて綺麗
にする 拭き取る 取り去る 消しきる ふく。(志
(布施田、志島、甲賀)、三、鈴市、上、阿) [会話]
ぬぐう事 漬ノゴウ。ごとばな (青漬) 出とるやんか
(出て居るではありませんか) ノゴタレマア (てや
れ) 汚いのん (のに)、胸苦しなつて (吐き気がし
て) くられ (来る) そいな (そんなのを) 見とると
(見て居ると) 言うて。泥 付けたて (てやって) ち
よいと (少し) ノゴタラナ (てやらなければ) 言うた
り。拭くのを ノゴウ 言うの (のです)。ぬぐう
言や (言えば) ええのん (よいのに) ノゴウ。廊下
雑布掛けする時や (は) 拭いたれ 言うね (のです)。
どおか (廊下) やどけ (など) 掃除する時や (は) ど
おかも 拭いたらな (てやらなければ) 汚れとられ
(て居る) 言うて。水も 其処い (へ) まけとられ
(こぼして居る) ちよいと (少し) ノゴタレマア 言
うし そげな (そのな) 時や (は) ノゴウ。風呂に入
って 体 ぬれとると (していると) えごつと (完全
に) ノゴトケ ふいとけ言うのを。

のこぎり【名詞】あかえい アカエイ科の海魚、体長 1
mに達す。体は平たく菱形で、細長い尾が有る。背面
は緑褐色、腹面は、黄白色尾の中央に有毒の鋭い棘が
有り、刺されると ひどく痛む、エイ類中最も美味

のこぎりがま(鋸鎌)【名詞】鎌の刃が鋸の刃のようにな
っている鎌 とがま参照 (員、四、多) [会話] 鎌
も なたがま ノコギリカマ ひじきりがま 言うて
幾つも 有って 鈍の代りん (に) はあ (刃) の あ
つついのおを (厚いのを) 鈍鎌、そして 鋸ん (に)
なつとんなあ (なっているのは) ノコギリガマや (で
す)、草 かんの (は) (刈るのは) 草刈り鎌。

のこしとく 保存しておく、とり除いておく

のごとけ 拭いておけ のごう参照

のごとられ 拭って居る 拭いている [会話] かくれ
た よん (ように) して 口のごとんの (ぬぐっている
の) あや (あれ) 買い食して ロノゴトラレ 言う
て。

のごとる 拭いている

のこのこ【副詞】何のこだわりもなくのんびりと行動し
ているさま [会話] ノコノコやつて来たない (来ま
した) 言うてなあ。とことこ歩るいて来ると、あやれ
(あれ) ノコノコやつて来たない 言うてなあ。ゆっ
くりしとる (している) ちよいと (少し)、呑気ん
(に) しとると ノコノコやつて来ただよお (来た

ぞ) 言うてなあ。
のごやか 脱ごうか
のこりおおい (のこりおほい) (残多) 【形容詞】心残り
がする 残念だ
のこりせん 【名詞】残銭 残った金 余った金 [会話]
十円出したけど (が) ノコリセン のおん (お前に)
やるわ (あげます) 言うてなあ。釣り銭や (で) なし
に、後い (に) 残ったのおを (のを) 言うね (言うの
です) 残ったの (のを) まあ のおん やるわ 言う
て、かんじょ (計算、勘定) して残ると この銭や
(は) のおん くれるわ (あげます) 言うて。
のこりだか (残高) 【名詞】差し引いて残った量 [会
話] ノコリダカ 残高の事。まあ こんだけ (これ
だけ) 残った こや (これは) 貯金しとこか (してお
きましょうか) とか、よお (よく) 言うやんかい (言
います)。したら (そうしたら) こやまあ (これは)
ばりで (仲間) なんなど (なにでも) こおて (買っ
て) 食おやんかあ (食べましょう) 言う時も有るしな
あ (有ります)。
のこりもん 【名詞】残物 後に残っているもの 余り物
[会話] ノコリモンやけど (だが) 喰わんかい (食べ
ませんか) 言うて、やうち (一同) な (が) 集銭して
食うて (食べて) 残ると 誰か来ると。まあ これ
ノコリモンやけど お前も くわんかい 言うてなあ
残ったもん (物) 食べるもん (物) なら 食い残り、
しなもん (品物) なら まあ みんな (皆) が 分け
て 残ったのをな、ノコリモンには福が有る 言うて
なあ。
のこりもんにふくなくなる 【俚諺】残った物の中に却って
よい物がある
のごわんと 拭かずに [会話] 仕事しても、しさがし
といてくと (途中でやめていくと) しん (尻) のけつ
も ノゴワント言うて、えごと (充分に) 片付けん
と (ずに) 行くとなあ 尻も ノゴワントとか言うて
なあ。
のさくさ 【副詞】遅いこと、暇どること、手間の掛かる
こと
のさばった 1) 腹ばいになった のさばる参照 2) 疲
れた 3) まいった 降参した 閉口した
のさばりこむ 疲れ果てる
のさばる 【自ラ五】 1) 腹ばいになる (志 (神明、志島、
国府)、度、南) 2) 倒れる 横にする 疲れる。(志
(片田)) 3) 大きな顔をする 勝手気儘に振舞う
横柄な態度をとる (志、鳥) [会話] 2) ノサバル 言

うて 横倒しん (に) になると。1) ノサバツタ、のたつ
とると (て居る) ノサバル。のたくつとるとか、そ
べとる (転んで居る) とか、そべた (転んだ) 言うて。
そして めえ (若布) やどけも (なども) はさ (木の
さく) から おろして干すのを 干す 言わせんの
(言いません)。 めえ (若布) そべな (なければ)
はざんわれ (駄目だ) 言うの (のです)。はさい 掛
ける時や (は) めえ (若布) 干さな (なければ) はざ
んわれ 言うし、はさ から 下ろして 砂い (へ)
のべんね (のべるのです) それを めえ そべな あ
んまり (あまり) 乾き過ぎてかれ (て行く) 言うて
そべえ 言うね。3) 大きな顔して ノサバル言う時も
有るしなあ (有ります)。
のされやせん 伸ばせない [会話] 田植えしても
(していても) 腰な (が) 痛おて (痛くて) ノサレヤ
センやんかい (です)。
のし。のしら 【代名詞】お前 らは等複数 のし。代名
詞ぬし主の転、二人稱 同等はそれ以下の相手さ
して言う。(志 (布施田 片田 船越)、鳥 (坂手)、
三、鈴市、松、上、阿、張、度、北、尾、南) [会話]
ノシラな (が) 言うて ノシ言うのは ものすごお
(ものすごく) わり (悪い) 言葉。ものすごお腹な
(が) 立つとる (て居る) 時に、あんた (貴方) や
(とか) お前や (とか) 言いたのおて (言いたなく
て) ノシな言うて ノシゲの言うて、ものすごお わ
り時に 使う言葉や (です)。ノシゲのがき (子供
餓鬼) な (が) 言うて ノシゲのがきな おつちやく
よも (横着者) で 顔も 見たないわれ (見たくない)
言うて。
のし 【名詞】主 ぬし 主人 持ち主 (志 (布施田)、
鳥、三、鈴市、松、上、阿、張、度、北、尾、南)
のじ 【名詞】生きたまま市場に運ぶ途中で死んだ魚 鮮
度はよいが 死んだため価値が下る 死魚よりは価値
がある (度)
のしえたるわ 乗せてあげます
のしえる 乗せる (志)
のしかかる 【自ラ五】 襲いかかる
のした 伸ばした 1) 資産を多くした 2) 出世した
のしつけたる。のしつける くれる やる
のしとく 乗せておく (桑郡、三、四、鈴市、安)
のしもち (伸餅) 【名詞】伸ばした餅 まるもちに對し
て ノシモチ (伸餅) の意 のべもち参照
のしや お前は のしはの急呼 [会話] お前や (は)
言う事を、ノシヤ 言うね (のです) のしみたよな

(のような) まん (者は) 何処い (へ) など (でも) 行きさらせ (行ってしまえ)、のしみたよな もな (者は) なんも (なにも) くらわせやせんわ (食べさせない) 言うて、ごおなわいとる (腹が立っている) 時の 言葉やなあ (です)。ノシャ言うのは おまや (お前は) 言う事。

のしゃがる 伸び上がる 出世する

のしゃげとる 乗り上げている

のしゃげる 【動詞】 乗り上げる 船や車が進行中、物に当ってはみでその上に乗ってしまう [会話] 浅瀬へ ノシャゲルとか、島いノシャゲテ 今日弱ったよおとか 言うて。〇〇の×××な しまわた やれ (だ) しまわた (島綿) やれ 言うて、舟 島の上 ノシャガツテ 島の上でも こそげてくと (て行くと) 島な (が) 綿やれ (だ) 言うて。島綿や (だ) 言うな (のは) 島 かつたいんけど (堅いが) わがとら (自分達が) ややげてくと (乗り上げて行くと) 綿や (だ) 綿や (だ) 言うて 綿みたいん (のように) やいこいよって (柔らかいから) ええね (よいのだ) 言うよおな 調子で 大袈裟に 言よおった (言っていました)。おおぐわ (大言) 言う人で なんやかやおおきい (大きく) 言う人 やったね (でした)。ノシャゲル 言うのは 乗り上げてた (て行った) 島の上を 滑るよおん (に) して ノシャゲトイテ (ておいて) 地場 (表面) な (の) ええのなら (滑らかなのなら) どお (槽) 漕んで 行き渡ってくんけど (行ききってしまうが)、ちよぎとる (とがって居る) とか (所は、舟の底) 破ったる (てやる) よって (から) てざわ (手竿) で 張って おろすんけど (おろすが) すべなええときゃ (すべりのよい時は) はよ (早く) 漕んだれ (漕いでやれ) 言うと、かじかじと取れてく (て行く) 時な (が) 有るわい (有ります)、そいな (そんな) 時ん (に) しまわたや (と) 言う。

のしゃばる のさばると同意

のしら お前達の のしの複数 (志、鳥) [会話] ノシラ 言うとお前ら言うて おおぜ (多勢) の時んなあ (に) ノシラな (が) よけ (沢山) けつかって (居て) 言うてなあ。

のす 【他サ五】 伸ばす [会話] 立って びいんと 腰ノスの (のを) 腰やすめ 言うて。

のせる (乗) 【他サ下一】 おだてる 言葉巧みに持ちかけて こちらの思うようにさせる [会話] ノセル 言うて 口車へ ノセル言うて。目ぼその じよる (女郎) ん (に) 乗るもん (者) は 無いけど (が)

口ぼその じよる ん 乗らん (乗らない) もん は 無い言うて。なんでも こや (此れは) ええよって 買え、こや ええよって (よいから) 呉れるわ (あげます) 言うても、目では だまされやせんね (だまされないのです)。目で 見るもん (物) は みや (見れば) ええ (好い) と わり (悪い) は 判るけど (が)、口は わり (悪い) 事でも 上手ん (に) 言うて 判らせんやんない (判らないでしょう)。そやよって (だから) 目ぼその じよるん乗るもん は 無いけど (が) 口ぼそのじよるん 乗らんもん は 無い言うて、口の上手なもん (者) の言う事は 聞くにげ (人間) が よけ (沢山) 有る言う事。口な (が) 上手な もんで (ので) ノセラレテ言うて おだてい (に) ノル 言う事やわい (です)。

のそ 【名詞】 動作の遅い事 又その人 (熊)

のぞき (覗) 【名詞】 1) のぞきからくりの略 覗機關 大道見世物の一種 一間位の箱の表面に数ケの穴をあけ レンズをはめ込んでそこから中の絵を覗かせる。絵は数枚一組で一枚毎に引上げ 口上を言いながら見せる。(津、上、阿) 2) 婦女の寝姿を盗み見する者 [会話] 2) ノゾキ 言うな (のは) ふしあなから 人の ねとんの (寝て居るのを) 覗くと、ノゾキな (が) あんねてわい (有るそうだ)、ノゾキな (が) はやとんねてわい (流行して居るそうだ) 言うて、若い夫妻な (が) 寝とる (て居る) とこ (所) い (へ) 覗きん (に) いて (行つて)。1) しよんがつん (正月に) 観音さんへ ノゾキな (が) 来よおって (きて居て) 八百屋お七やてら (とか) そいなのおお (そんなのの) 二銭つ 出して 覗くのなあ (のです)。そすと 今しの (今の) 映画 見るよおん (に) すんねもんで (するので) よお (よく) はやったの (流行したのです) ノゾキ 見いん (見に) 行こや (行きましょう) 言うて。

のぞく (覗) 【自カ五】 1) 病気や不幸などの見舞に行く (上、阿) 2) 訪れる (上、阿) 3) 見る [会話] 3) ノゾク 言うな (のは) 井戸ノゾク言うて 馬な (が) あんど (行燈) 喰わえて にいと ノゾイトル (て居る) よおな (ようだ) 言うて、下みんのを (見るのを) ノゾク言うのなし (です)。そして 節穴なども なんでも ちっさいとこ (小さい所) から 見んのを (見るのを) ノゾク言うの (言うのです)。ひらた (平らな所) で みんの (見るの) なら 見る言うねけど (言うのだが) ちっさい とこ を 見んの (見るのは) ノゾクや (です)。1) 病気の時も ち

よいと (少し) ノゾイテコカ (覗いて行こうか) 来た つんでん (ついでに) 言うて、見舞う言うのを ノゾク 言うて。家に 誰か おるか おらせんか (居ないか) ちよいと (少し) ノゾイテ こおかいなあ (来ましょう) 言うやんかい (言います)。見てこおかいな (こよおか) 言うの (のを)。

のそくさ 【副詞】**【名詞】** 愚図愚図している事 又その人

のそま 【名詞】 鈍い人 愚鈍な人

のぞまし 【形容詞】 欲しい 望むべき状態 ねがわしい

のたくる 【自ラ五】 1) 横になって居る (志 (鶴方)、鳥 (鳥羽)、鈴市、松、多、伊、北、尾) 2) 怠ける [会話] 1) ノタクル 言うな (のは)、のたる のおを (のを) ノタクッラレ (ている) まあ言うてなあ。べたんと のたるとなあ ノタクッテ じい (字) 書いてとんね (ているのだ) 言うてなあ。はらのたり (腹這い) しとんのおを (しているのを) ノタクル 言うの (のです)。

のたつとる 腹ばいになって居る 横になって居る (志 (甲賀))

のだぬき。**ののだき** 【名詞】 本心を見せない人 野狸

のたばる 1) 疲れる 弱る (鈴市、安、南) 2) 横になる 長々と伸びている (阿、張) [会話] 1) ノタバ ッタヨオ、ま 今日 仕事な (が) えろおて (大変で) 言う時な (が) 有るやんかい (有るのです)。くたびれた 言う事を ノタバ 言うの (のです)。のたくるも 一緒に べたんとしとる (している)、まあ 行て来て まあ こや べんと (弁当) 箱ほつ といて (ほおり出して) 其処い (へ) ノタバ ットルんかあ (ているのか) 言うて、仕事な (が) えろおて (大変で) ノタバ ッタヨオ 言うて、どいらい えらい いもんで (大変なので) 其処い (へ) ノタバ ッテ する時な 有るんなあ (有ります)。2) ノタバ ッタヨオ 言うて 転ぶ時も 有るもんなあ (有ります) あおぬいて 寝ると あやれ (あれ) だんばらかやしとられ (大の字になっている) 言うて。

のたらず 横にする [会話] しょうじ (精進) 油や (だ) 言うて 神さんへ おとめよ (御灯明) あげる 時んなあ (に)、としみ (燈芯) を 脇へ ノタラシ トイテ (横にしておいて) それい (へ) ひい (火) つけんの (つけるのです)。

のたりこむ 【自マ五】 へたばる 疲れ果てる (志 (布施田)) [会話] 具合 (調子) な (が) わりて (悪くて) ノタリコム 言うて、うなりもて (ながら) 家い

(へ) 入るやんない (でしょう)。具合な わりいて (悪くて) 畑い (へ) いとたねけど (行って行たのだが) ノタリコム な (のだ) 言うて。具合な (が) わりいて いっしょけんめ (一生懸命) 家い (へ) 来てのさばったね 言うて のさばったとか ノタリコム とか。

のたる 【自ラ五】 腹這いになる (志 (布施田、神明、立神、甲賀、国府)、松、多、張、鳥、北、尾、南、熊) [会話] ノタル 砂い (へ) ノタル、浜い 潮浴びん (海水浴に) 行くと、あたたい (暑い) 砂い ノタリオッタノ (腹ばいになりました)。“あんご (顎) 乾け 口乾け 口より、あんごな (が) 早よ 乾け” 言うて、砂を 抱いて来て、おつきい (大きい) 石もて来て (持って来て) あんご ぬくとめて (温めて)、腹這いん (に) して 砂を ぬきたいのおを (温かいのを) わが (自分の) 胸い (へ) 一杯抱いて あんごを 砂い (へ) 突っ込んで あんご 乾け、口乾け言うて。海から あがって来ると さぶい (寒い) やんな (でしょう)、さぶうて (寒くて) 口ばな (を) えびせん色 (紫色) ん (に) して来て ふると んねやんかい (ふるえて居るのです)。あたたい 砂を あたとおて (熱くて) 煮えてく (て行く) よおな ねけど (ようなのだが) 腹 こおらして来るともんで (冷やして来てるので) あたたいの じゅつと しても 気持な (が) よおて (よくて)。ぼぼおし (女性の素っ裸) や、ちんぶらりん (男児の素っ裸) や言うて、おぬけばら (裸、陰部丸だし) で 砂い (へ) ノタル。

…のだん の場合 の時

のちいり (後入)。**のちぞい** (のちぞひ)。**のちぞえ** (のちぞへ) 【名詞】 後妻 (志、鳥 (長岡、鳥羽)、安、南) [会話] ノチゾエ言うな (のは) 一人先い (に) 死んでたとか (で行ったとか)、戻ってたとか 言うて、また 後い (で) 貰らうと、ノチゾエや (だ) 言うて、後妻の事をなあ。あの家の ノチゾエ な (が) よおて (よくて)、言うてなあ、後妻な (が) ええ (よい) となあ、あの家や (は) ノチゾエ もろたや (貰らったら) わりいて (悪くて)、子ららな (が) みな どこやかやい (何処かえ) とんでて 言うてなあ。

のつけ 【名詞】 最初 始め ノケの促音化 (広辞苑) (志 (布施田、御座、志島、国府、甲賀)、鳥 (鳥羽)、員、三、鈴市、鈴郡、安、一、松、多、上、阿、張、名、度、伊、尾、南) [会話] ノッケ 三十 負けな

し言うて、あおたん (花札) すると 言うわい (言います)。ノッケ言うのは 一番 初め 言うね (言うのです)。ノッケに わり (悪い) と 終いまで わりわれ (悪いです) 言うて。漁師いいても (漁に行っても) ノッケに 喰わえて 言うやんかい (言います)。すぐに 喰わえて ノッケから 大漁やった (だった) とか、ノッケに 大漁してとか言うて。

のっけに 最初に のっけ参照 (志、鳥、員、三、鈴市、安、一、松、多、上、阿、張、名、度、伊、尾、南)

のっこみ 【名詞】年の初頭に船員を集め、一年の豊漁と無事を祈願する行事 のりこみ (乗込み) [会話] 乗り込みをノッコミ言うて。乗り込み日待や (と) 言うて。しょんがつ (正月) の二日になると 出船で 出船祝いや (と) 言うて、ごっつお (御馳走) して、乗り込み日待や (とか) 出船祝いや (だ) 言うて。乗り込み日待 言うな (のは) かど船 (鯉船) な (が) かこ (水夫、船員) 揃えて すんの (するのを)、出てく (出航して行く) 時は 出船祝い 言うて 出航や (だ) 言うて、そのよさり (夜) あした (明日) 出船やもんで (なので) 出船祝いや (と) 言うて するやんかい (します)。

のっそり 【副詞】動作が鈍くゆっくりして居るさま。ぼんやり立って居るさま。のそりの急呼 (度) [会話] ノツソリ やって来て言うて、あんな (彼が) いつから こらったや (来なかったが) 今日 は ノツソリ やって (出て) 来て 言うて。ノツソリと あんな (彼が) しとて (して居て) 言うて うとと (ぼんやり) しとると (して居ると) ノツソリと 仕事しても しとる (して居る) 言うて。ぼやと しとると ノツソリ しとる 言う (の) です。

のつた 魚が網に掛った [用例] 大漁で 網い (に) よけ (沢山) ノッタ。

のつとる うかれて居る

のつとる 魚が網に入っている

のつぱく 【名詞】広く平で障害物のない所 (志 (布施田)) [会話] ノツパク言うて、畑のなんも (全く) かげ (障害物) な (が) 無い事 なあ (です)。おらげ (俺家) の 畑や (は) ノツパク やよってん (だから) 言うて かげも なんも (何も) 無い 畑を ノツパク。

のつびきならん どうしても しなくてはいけない ノキヒキの音便 (広辞苑)

のつぺら 【副詞】緩慢 のつぺり 起伏が無く平なさま [会話] ノツペラ ノツペラボン みたよななあ (のよ

うだ) 言うて、すべつと (平らに) しとると (している) ノツペラボン みたよな。すべつと しとると ノツペラボンで つかめる (つかまえる) と こ (所) も 無いわれ (有りません) とか言うて。かか り (手掛り) な (が) 無い事を ノツペラボンや (と) 言うて。顔でも すべつと しとる 顔 な (が) 有るやんかい (有ります) のぼつとして ノツペラボオも ノツペラボンも 一緒やなあ (です)。

のつぺらぼお (のつぺらぼう) 【名詞】1) 何の取柄も無い無能者 凹凸なく一面に平な事、又そのさま。何の変化も無い事。何の反応も無い事。のつぺら参照 2) 目も鼻も口も無い化物

のつぺらぼん 【名詞】【形容詞】のつぺらぼおに同じ [会話] ぬつぺらぼん。ノツペラボン みたよななあ (のよだ) 言う人も 有るなあ 一緒の意味やけど (だが) のそつと しとる (している) よってんだ (から) ノツペラボンで ええんけどな (ようのだが)、のっそりと やつとんのな (しているのが) 有るやんない (有るでしょう)。あほ顔や (だ) 言われやせんし (れないので) ぬつぺらぼんや (だ) ノツペラボンや (だ) 言や (ええ) ええけど (よいが) あほ顔や (だ) 言や (言ええ) べつんも (特に) わりしなあ (悪いので)。

のつぺり 【副詞】平なさま 緩慢なさま [会話] のびとる (呑気な) にげをなあ (人間を) のそつと しとんの (しているのを)、あや (彼は) ノツペリ しとんなあ (しているなあ) 言うてな。そして 顔でも すべつと (滑らかに) したよな (ような) 顔 しとんのなあ (しているのを) ノツペリした 顔やなあ (だ) 言うて、おとなあし (おとなしい) よおな顔 しとる (している) にげ (人間) な (が) 有るやんない (でしょう)、おやま (女形) 顔 しとんのなあ (しているのです)、すべつと したよおな 元気な (が) 無いよおな 男でも 顔 な (が) 有るわい (有ります)、そいなのおを (そんなのを) ノツペリした よな (ような) 顔 やなあ (だ) 言うて。

のつぽ 【名詞】1) 背の高い人 のつぽうの約 (志 (浜島)、鳥 (鳥羽、答志、加茂)) 2) 愚か者 [会話] 1) セエタカノツポ。せえ (背、身長) の たつかい (高い) の おも (のも) ノツポ 言うの なあ (言うのです)。ノツポ みたよん (のように) しとんなあ (して居る) 言うて、せえ な (が) 飛び抜けて 高い人 な (が) 有るやんない (有るでしょう)。

のつぽがお 【名詞】ぼんやりしている顔 [会話] 顔で

も ぼやっと しとると (していると) ノッポガオや
(と) 言うやんかい (言います)。

のどき 【名詞】 農繁期 [会話] しんがつ (四月) は
ノドキで どいらい (大変) 忙し (忙しい)。麦刈っ
たり 五月になると 芋植え 百姓時期で 一番忙し
(忙しい) 時や (です)。

のどくび (喉頸) 【名詞】 首 [会話] ノドクビ、男の
人ら (の) ノドクビ、言うな (のは) あの ごつごつ
しとるなあ (しているのです)。

のどぐる 【名詞】 海魚 ゆめかさご カサゴ目 フカカ
サゴ科 胸鰭の上腹部に大きな皮弁があり、鰓耙は
短くて瘤状。上顎の前端に歯塊が無い。尾鰭後縁は載
形。

…のどこ 分量を表す語 百円ノトコ等 (鳥)

のどこそげる 食べ物で、喉を刺激する

のどちんこ。のどちんぼ 【名詞】 喉ちんこ 口蓋垂の別
名 軟口蓋後端の中央から垂れ下って居る乳頭状の突
起。ちんこ ちんぼは男根の義 [会話] ノドチンボ
あの きんさん ぎんさん な (が) 笑うと、はあ
(歯) な (が) 無いもんで (ので) ノドチンボも 皆
めえて (見えて) 来るやんかい (来ます)。ノドチン
ボな (が) 下って来た 言うて、風邪引いて 喉な
(が) 腫れると。

のどのこびおとす 御馳走を食べる

のどのひぼ 【名詞】 声 ひぼは、ひこ 口腔の奥、咽喉
のどのひぼきる。のどのひぼなきれる 大声を出すため
声が枯れる 出なくなる。[会話] 怒る時に 言いお
った (言っていました)。ノドノヒボな (が) 千筋
有っても きれてかれ (切れて行く)。

のどぶえ (喉笛) 【名詞】 首 または 声

のどぼとけ (喉佛)。**のどぼね** (喉骨) 【名詞】 喉佛 喉
の中間に有る甲状軟骨の突出した所 [会話] 男の人
あ (は) ノドボネな (が) たかばつとる (高くなって
いる)、おなご (女) は すべつとしとるけど (して
いるが)。首 見ると 男や (だ) おなご や (だ)
言うな (のは) 判るけどなあ (判ります)。によぼん
(滑らか) とした顔で おなご顔しとても (してい
ても)、男やどお (だぞ) ノドボネな (が) たかばつと
んない (高くなっている) 言う時な (が) 有るんなあ
(有ります)。

のな お前が (志) [会話] あんたとか お前 言うの
を、ノナ 言うのなあ。目下の人とか、同輩になあ
言う時ん (に)、ノナ 言うて。上の人ん (に) にわ
なあ (には) あがみ (貴方) とか、おみ (貴女) とか

言うてなあ。

…のな のが (志 (布施田)) [会話] あげな (あんな)
ノナ 言うのかい (ですか)、あげな ノナ なん
(何) に なんねてど (なるのだ)、あげな もん
(者) な (が) 言う時も 有るしなあ。あげな ノナ
はざおかれ (駄目だ)、能無しで あげな ノナ なん
んに なるどれ (なるのだ) 言うて。あいな ノナ (あ
んなのが) 嫁に もろたてて (貰らっても) なんに
なるな (なるのだ)、とと (夫) とも よお (よく)
寝んのかれ (寝るのか) 言うてなあ、あげな もん
(者) な (が) 言う時 あげな (あんな) ノナ。

ののさん 【名詞】 1) 佛様 (鳥 (加茂)、桑市、員、三、
安、久、一、上、阿、張、名) 2) 月 (桑市、鈴市、
安、津、松)

のばかす 延ばす、伸ばす

のばす (伸) 【他サ五】 伸ばす 延ばす 1) 財産を作る
身代をよくする 成長して業績や 能力が大きくなる
ようになる 2) 延期する [会話] あした (明日)
どおやけど (どうだが) ノバソカ (延ばそうか)、
雨やら (か) 判らせんのん (判らない) 言うて、日に
ち ノバスのおも (の) 言うし (言います)。1) し
んしよ (身上、身代) ノバス、言うて よけ (沢山)
かね (金) ためると 金も ノバシトネナイ (のば
して居るそうだ) こおと (質素) なよってん (だから)
金 ノバシテ 言うて。

のばってく 延びて行く 伸びて行く [会話] くちべ
らし すんのん (するの) に 食うもん (物) な (が)
いなんよん (要らないように)、何処い (へ) でも
働きん (に) 行きでもな、そんだけ (それだけ) ノバ
ツテクんのん (の) に そんで (それで) くちべらし。

のばる 【自ラ五】 1) 伸びる 伸びる事が出来る 2)
延びる 長くなる (津)

のび (伸) 【名詞】 疲れたり 退屈したりした時、手足
を伸ばして大きな呼吸をすること [会話] ノビする
言うんかい (言うのですか)、きゅつと わがとらな
(自分が) こおする事 ノビしたれ (しました) 言う
けどなあ (言います)。疲れた時に 大欠伸して て
え (手) も のばして ノビしたれ。なんやかや (い
ろいろ) こまかい (小さい) 事 ばつか (ばかり) し
とるとなあ (していると) 終わった時ん (に) ノビした
るとなあ (してやると) 体な (が) しゃんとして ノ
ビすると せえ (背) な (が) 五寸も 伸びんねてわ
れ (伸びるそうだ)、ノビしたれ 言うて、子供のじ
ぶん (頃) にや (には) 言よおった (言っていまし

た)。

のびとる のんびりして居る 少し気がきかない [会話] 人間が のんびりしとんのおも (ぼんやるして居るのも) あの ひた (人は) ノビトル。

のびやがる【自ラ五】 1) 伸上る のびあがる 爪先立ったり 背をのぼしたりして背を高くする (志 (布施田)) 2) 財産を作って上に出る [会話] 1) 背伸びすると、ノビヤガッテ 取って言うてなあ。柿や (とか) なんやかや (いろいろ) 獲るよん (ように) となると、ノビヤガラナ (なければ) 獲られやせん (ません) 言うてなあ、伸び上る 言うのを ノビヤガル 言うのなあ (です)。

のびよかい。のびよかい。のびよかな。のびよかな (女性語)。のびよかれ。のびよかれ 伸びない 延びない [会話] あんな (彼が) 曲ったら ノビヨカレ 言うて、むつかし (頑固な) 人を、ノビヨカレ 言うこと、ノビヨカレ 言うね。

のびる【自バ上一】 財産を作る 身代をよくする 伸びる 業績や能力が大きくなる。

のぶとい (野太)【形容詞】 ずぶとい ずうずうしい ふてぶてしい 甚だ横着で有る (志 (片田、浜島、布施田、鶴方、神明、立神、志島、甲賀、国府、安乘)、鳥 (鳥羽)、松、多、上、張、阿、名、度、伊、北、南) [会話] しぶとい、のぶとも、どおよござめよ 言うて、ノブトイ 子らを どおよござめの はてなしや (果無し)。のぶともんな (が) はてなしや (だ) 言うて、おっちゃん (横着) な事すると、あや (彼は) ノブトイの、はてなしや (だ) 言いおったなあ (言っていました)。わり事 (悪い) しといておって (しておいて) 平気でおる (居る) 言うことを、ノブトイ 言うやんか (言うのです)、ノブトオテ (たくて) 心な (が) おっちゃん (横着) な にげ (人間) をなあ。どいな (どんな) わり事 しても平気でおる言うことを。そいな (そんな) 人を 遠慮も気の毒もなんも (なにも) そんなふり (格好) せんと (せずに) おすら みたいん (知らぬふり) しとんの (そているのを) ノブトイ。のぶともんの はてなしや (だ) 言うて。

のぶとまる。のぶともな。のぶとも。のぶともん **【名詞】** 非常に横着な人 のくぞ、のぶとい参照

のべたてる (述立) 盛に言う 激しく言う よく喋る [会話] ノベタテル まくし立てる。あや (彼は) お喋りやなあ (だ)、お喋りでよお (よく) 口、轉ずる (喋る) こおやなあ (子供だ)。

のべつまくなし (延幕無)【名詞】 休みなく 続くさま 休みなし ひっきりなし 絶えず のべつ 絶えまなく続くさま 休む暇なく しょっちゅう [会話] ノベツマクナシん (に) 喋って 言うて、間 無しん (に) する 言う事、ノベツマクナシん (に) 喋つとるとか (て居るとか)、ノベツマクナシん しとる (して居る) とか。あのひた (人は) すけ (助手) で 夜がな夜じゅう (一晩中) ノベツマクナシ しとんね てわい (して居るのだそう) 言うて。あい (間) 無しん (に) 続けて する言う事やなあ (です)。ノベツマクナシ 言うな (のは)。それこそ ぬかるく ふくびんや (です)。ぬかるく ふくびん、ぬかんと (抜かずに) 六つして そいて 拭いたや (たら) びんと 立ったんてない (立ったそうです)。

のべもち【名詞】 大きな餅を小さく切らずに、ひとつに延べたもの [会話] 鏡餅は ノベモチにして。

のべもち【名詞】 ぜんざい [会話] ノベモチ 言うてな、小豆い (に) 餅 入れんのなあ (るのです) ぜんざいを ノベモチや (だ) 言うて。

のべやい【名詞】 お互に意見を延べ合う事 話しあい [会話] 幾ら 意見を ノベヤイしても 事な (が) きまらん (決定しない) 時やなあ (は)、幾ら だんじこんでも (話し合っても) はざんわれ (駄目だ) 言うて。

のべる (延)【他バ下一】 1) 広げる 2) 延期する [会話] 1) 床 敷く言うのを 床 ノベル 言うてなあ、まあ そや (それ) 曲つとんない (ている) 真つ直ん (に) ノベトカナ (ておかなければ) はざんやんかあ (駄目だ) 言うてなあ 曲つとると (ていると) そや それも ノベトケマア (ておきなさい) 言うたり。

のぼしあがる 1) 逆上する 2) いい気になる (熊)

のぼしとる 1) 夢中になって居る 2) 逆上している 3) よい気になっている

のぼしとんね 1) 夢中になっているのだ のぼす参照 2) 逆上しているのだ 3) よい気になっているのだ

のぼしやがとる。のぼしやがとんね。のぼしやがとんねない 1) 夢中になっている のぼしやがる参照 2) 逆上している 3) いい気になっている

のぼしやがとんねてない 1) 夢中になっているそう だ 2) 逆上しているそう だ 3) いい気になっているそう だ

のぼしやがる【自ラ五】 1) のぼせあがる 逆上する 夢中になる 2) いい気になる [会話] 1) まあ ノボシヤガットンネ (ているのだ) あれん (彼に) 言う

てなあ、夢中ん (に) なる事をなあ ノボシヤガル。
惚れて その人ん (に) つきやあるくとなあ (つきま
とうと) あやまあ (彼は) ノボシヤガットンネド (て
いるのだ) あれん (彼女に) 言うてなあ。のぼせあが
る 言うのを ノボシヤガットル (ている) 言う、ノ
ボシヤガットンネよって (ているのだから) 今しや
(今は) なつと (なんと) 言うても (言っても) はざ
んねてや (駄目なのだ) ま 熱な (が) 冷めな (なけ
れば)、今し 熱な (が) もやがつとんね (盛り上
っている) よつて まあ 言うても 聞かせん (聞き
ません)。

のぼす (上、逆上) 【自サ五】 1) 逆上する 無我夢中
になる (志 (鶉方、甲賀)、鳥) 2) 頭痛がする
3) 舟をドック入りさせる (志 (布施田)) [会話]
1) ノボス 喧しよつて (から) ノボシテカレ (のぼせ
て行く) 言うて。あの人ん (に) 惚れて ノボシトン
ネテワレ (のぼせて居るそうだ)。どっこい (何処)
でも つきゃあるいて (つき歩いて)、ノボシトン
ド (居るのだ) 言うて。ノボシトン (て居るのだ)
言うて、あれん (彼に) 惚れとて (て居て) 惚れて
曲つとんねど (ているのだ) 今し 言うて。ほかのこ
た (事は) なんもせんと (何もせずに) そればつかな
あ (ばかりです)。頭 血の三合も 無いねど (無い
のだ) 言うて、まあ ノボシテ (て居て) 頭 から
つぽやよつて (だから) 血な さんご (三合) も 無
い言うて。2) 頭な (が) 痛いとき ノボス 今日
は首玉い (へ) ノボス 顔な (が) ほとつた (赤くな
った、火照る) とか 耳な (が) ぼおぼお 燃える 言
うて、よお (よく) 言いおつたなあ (言っていました)。
おなご (女) らな (が) ノボシテ 来て 胸な
(が) わりいて (悪くて) 言うて よお (よく) 言い
おつたわい (言っていました)。ちもち (血持ち) や
(だ) 言うて、ちい (血) な (が) おこつたてやら
(とか)、ノボセな (が) おこつた 言うて、のぼせ
持ちや (と) 言うの、そいなのおをな (そんなのを)。
3) 舟 ドック入りする 舟ノボシトン (て居る) 今日
は言うて。修理したり 舟 洗ろたり (洗ったり)
たでたり すんのなあ (するのを) 舟 ノボス 言う
の (のです)。舟な (が) 夏中 つかつとると (海に
浮かべて居ると) のり (海草) な (が) わいて (生え
て) 来るやんない (でしょう)、そすと (すると) 舟
揚げといて (陸に揚げて) ひっかたげといて (傾けて
おいて) しだ (柴) こおて (買って) 来て、舟の底を
焚くの (のです) 舟 たでる 言うて、一日 夏にな

ると 舟の底 焚くの (のです)。虫な (が) して
来るし 牡蠣な (が) わいて (付いて) して来るもん
で (ので)、それを ぼおずりで こそげといて (掻
きおとしておいて) 舟たでる 言うて 舟の底 たつ
からかす (焚きつづける) の (のです) しよおしよ
(少し位) 焚いたてて (ても) じゅぶじゅぶ 水な
(が) 出て 来んの (来ます)。

のぼせ (逆上) 【名詞】 頭がぼうっとして居る状態 持
続する軽度の頭痛 [会話] ノボセ持ちや (だ) 言う
て 木の芽時や (だ) てやら (とか) 草枯れ時ん
(に) になると、まあ 頭な (が) わりいて (悪るく
て)、まあ 今日 頭な (が) おもとおて (重く
て) 言うてなあ。ノボセモチの にげ (人間) は 秋
春の雨な (が) よけ (沢山) 降つて来るじぶん (頃)
になると、わりいて、あや (彼は) 若いから ノボセ
モチで まあ言うて、のぼつて来て、頭い (に) のぼ
る、肩い (へ) のぼる言うてなあ。

のぼせあがる (逆上) 【自ラ五】 1) 夢中になる すつ
かりのぼせる 逆上する 血迷う 2) いい気になる
のぼせとる 1) 夢中になっている 惚れている 2)
いい気になって居る [会話] 1) ノボセトル 言うの
なあ、惚れて 曲つて のぼし (せ) とんの (てい
る) 言うんやんかい (言います)。ノボシトン
言うてな、のぼしゃがつとる (のぼせあがっている) 言
うの (のです) のぼしゃがんのも 一緒や (です)。
ま 人目も恥も 言わんと (言わずに) 追わえや (追
わえて) あるいととなあ (居ると)。

のぼせもち 【名詞】 常に頭重 頭痛感を訴える人 特に
女性 のぼせ参照 (南) [会話] ちもち (血持ち) や
(だ) 言うて、ちい (血) な おこつたてやら (と
か) のぼせな (が) おこつたてやら 言うて、ノボセ
モチや (だ) 言うの (のです) そいなのおを (そんな
のを)。

のぼせる (上) 【他サ下一】 1) 頭痛がする 2) よい
気になる 3) 夢中になる 逆上する

のぼとい 【形容詞】 図々しい 厚かましい [会話] め
つらかわきや (だ) 言うて、ノボトイ人を 言うやん
かい (言います)。

のぼらかす。のぼらす 【他サ五】 1) 入学させる 2)
上にあげる (凧)

のぼり (上) 【名詞】 辺地から都会へ行く事、東 又は
北の方へ行く事

のぼり (幟) 【名詞】 旗 大漁 (津、阿)

のぼりぐも 【名詞】 西へ行く雲 (伊賀地方、伊) 吾党の

方言に東へ行く雲をクダルと云、西へ行くをノボルと云ふ由て、嘗て大阪に旅遊せし時に西へ行く雲を上ると言へば、傍らに居たる者顛倒なると笑ひける故に、吾邦にては西をさすを上るなりと云ければ、然れば山田は東に海有ゆへなるべし。凡て何れの地にても其処より指て海ある方へ雲の行を下ると言う習なり。大阪は西に海ある故にくだると云なり。(伊勢の浜萩)

のぼりごさい【名詞】 鮫が伊雑宮へ参拝するといわれる日 ござい参照 [会話] ごんち (五日) ノボリゴサイ で、ろくにち (六日) ん (に) 下って来る。

のぼりさか【登坂】【名詞】 坂道の登りになって居る事 くだりさかに対する

のぼりたて【名詞】 頂上 峠 [会話] ノボリタテは頂上。

のぼりたてで、あわたてる【俚諺】 頂上で粟を仕分ける声がよく聞えるの意 [会話] のぼりたて言うて 峠い (へ) 行くと、あらし (風) な (が) よけ (沢山) 有るやんない (でしょう) 粟 たてる (箕で実と殻を分ける) よん (ように) になると なんでも (なにでも) たてもん (箕で分ける) すると のぼりたてい (へ) 行くと 風な (が) よお (沢山) 有ってなあ よお ふけんねてや (殻が吹けるのです)。そやもん で (それで) 声な (が) おつきい (大きい) もんでな あ (ので) どこい (へ) 迄も 聞こえとんね (聞こえている) やんかい (のです)、ノボリタテデ アワタテ (る) のより えらいなあ (大変だ) 言うて。

のぼる【登】【自ラ五】 1) 入学する 2) 肩などが凝る 張る 3) 東の方に行く 4) 逆上する 5) 高い所へ上る [会話] 2) 肩い (へ) ノボッテ どいらい (大変) 気持な (が) わりねよお (悪い) 言うやんかい (言います)。首い (へ) ノボル。背中から 首たまい ノボッテ 頭な わりいて (悪くて) 言うて、おなご (女) な (が) えてこい (得意) やんかい (です) 5) きい (木) い (へ) ノボル、木 ノボルてやら (とか)、鯉のぼりてやら、ノボルは よけあるわい (沢山有ります)。1) 学校へ ノボル 言うて 一年生 あがる (入学する) 言うのを がっこ (学校) い (へ) ノボル。

のます【飲】【他サ五】 1) 承知させる 2) 飲むようにさせる 呑ませる (三) [会話] 2) 乳 ノマス、酒 ノマス お茶 飲ましてくれ (下さい) 言うてな。喉 な (が) 乾くと、ちやあ (茶) ノマス。1) それ ノマシトカナ (ておかなければ)、ノマシタンテワレ (そうだ) 言うて 承知さした (させた) のをなあ。まあ

あつ湯 飲まされたよお 言う時も 有るやんかい (有ります)。せんざり (十分) 意見して する言う事やろなあ (でしょう) 嫌な事を 承知させられると、ま、煮え湯 飲まされて来た 言うて。

のまれる【飲】 1) 飲むことが出来る 2) 承知できる無理に承知させられる のまれる事とのまれん事な有る [会話] 2) あの人ん (に) ノマレタネ (のだ) 言うやんかい (言います)。ま あの人な (が) 言う事 聞かぬ (なければ) しょな (仕方が) 無いし、まあ ノマレタネ (のだ) 言うて 長いもん (物) に 巻かれ 言うのをな 長いもん に ノマレナ (なければ) しょな (仕方が) 無いわれ (です) 言うて。

のまれる【飲】 酒を飲んで理性をなくすこと [会話] 酒飲んどて (でいて) 自分を失なうと、酒ん (に) ノマレル 酒は のんでも 飲まれちやならん 言うて。

のみ【名詞】 鮑を採る鉄製の筥 (志 (各地)、鳥) [会話] 鮑おこしの ノミ も 有る。

のみいらち【名詞】 蚤に対し、神経過敏な人 (上)

のみかけ【飲掛】【名詞】 飲みはじめて途中でやめること 又 その残り物 [会話] 飲んで 此処い (へ) 置いてあんの (あるのを)、ノミカケんの (ののを) 人な (の) 飲んどる (でいる) やんかい (です)、おんな (俺の) ノミカケやでえ (です) 言うて 途中で 止めて あんのを (有るのを) 知らんと (知らずに) 飲むとなあ。

のみくい【のみくひ】【飲食】【名詞】 飲んだり食ったりすること [会話] あの家で ちやあ (茶) も のおだり (飲んだり) 飯も食うたり しとると (していると)、いつでも あの家で ノミクイ しとんね (しているのだ) 言うて 飲んだり 食うたりなあ。

のみぐすり【飲薬】【名詞】 飲んで効果の出る薬 内服薬 [会話] ノミグスリ 飲む薬。

のみくち【飲口】【名詞】 1) 酒などを飲む態度 飲みっぷり 2) 盃などの口をつける所 [会話] 1) ノミクチな (が) ええなあ (よい) 言うて、旨まそおん (に) 飲むと、あやれ (あれ) あの人 酒な (が) 好き やよってなあ あれ (だから) ノミクチな (が) ええわれ (よろしい) 言うて、旨そおん (に) してなあ、ノミクチな (が) わりひた (悪い人は) おおた あのひた ノミクチな (が) わりいて (悪くて) いらんねかして (要らないのか) 言うて、要らん みたよん (ように) して 困ったよん して 飲んどる (でいる) 人な (が) 有るやんない (有るでしょう) ノミクチな (が) わりなあ (悪い) あのひた 言うて。

のみぐち【名詞】 鮑を獲る時 のみを当てる所 [会話]
鮑の はもと 探つて はもとな (が) よけ (沢山)
あいとる (あいている) 様などこ (所) のみくれる
(刺す) とこ ノミグチ 探すの (ののです)、いび
(指) の先でなあ。

のみこみ(飲込)【名詞】 理解

のみこむ(飲込)【他マ五】 承知する 理解する 引き受ける

のみこんどく1) 承知しておく 2) 引き受ける

のみさがす 1) 飲みまくる 大酒をする 2) あちらこちら梯子酒をする [会話] ② はしご酒でノミサガス あっちゃで (あちらで) のおでかい (飲んで来ては) こっちゃ (此处) で のおでかい して、酒屋へ よけ (沢山) かけ (借金) こさえて (作って) 言うて、かから (妻) な (が) 怒るやんかい (怒ります)。まあ ほんどん (本当に) 呑み助やれ (だ) 言うて。

のみさし(飲止)【名詞】 飲みかけて 途中で止める事又その残りの物

のみしろ(飲代)【名詞】 酒を飲む代金 [会話] ノミシロ 稼がな (なければ) 言うて、飲む お金をなあ、ノミシロも、よお拂わんと (拂えなくて) 言うて、のおで (飲んで) 拂わんと 行くと、ノミシロ拂わんと ただ飲みして言うて。

のみすけ(飲助)【名詞】 飲み助 酒が好きで沢山飲む人を人名めかして言う語 (志(布施田)、鳥(長岡)、上、阿、張、名)

のみたおす(のみたふす)(飲倒) 十分に飲む

のみつぶれる(飲潰)【自ラ下一】 泥酔して、動けなくなる 理性を失う

のみて(飲手)【名詞】 酒をよく飲む人 酒豪 [会話]
酒よお (よく) 飲む人をなあ ノミテや (だ) 言うの
なあ (です)。ノミテで 一升かぶり 二升かぶりや (だ) 言うて、亀やどお (だ) 言うて。昔や (は) さいげん結ぶ 言うて 酒 よお 飲む人 頼みよおったやんかい (頼んで居たで有りませんか)。結婚式や とか (だ) 初午やとか (だ) 一番下座に おつてなあ (居て) 上から 振分けん (に) して来てなあ、そすと (すると) 八寸の膳に 茶碗な (が) 二つ置いて有つて こつちからん (こちらから) のおと (のど) あつちから (あちらから) ん (の) のおと それい (に) まあ 入れて さいげん結ぶ 言うて 膳を 持ったなり (まま) 飲んでしよおつた (して居ました)。酒よお (よく) 飲む人や (で) なけな (なければ) 茶碗に二杯もやよつて (だから)。縁起もん (物) やよ

つて さいげん結ぶ 人な (が) なけななあ (無ければ)。

のみとりこ(蚤取粉)【名詞】 蚤などを駆除するための粉末状の薬剤。除虫菊などを乾燥させたもの [会話]
じゃぶじゃぶ 寝やれる (られる) ノミトリコ言うて 敷布団も だっぴん (一杯に) なる程なあ きいよい (黄色) よおな こお (粉) や (です)。蚤な (が) よけ (沢山) おるもんで (居るので) ふつといてなあ (ておいて)、そすと (すると) 朝ん (に) になると、ころころしとる (している) 取りよいねてや (やすいののです)。よおとてなあ (酔って) 蚤な (が) よけ (沢山) おつて (居て) 寝やれんで (寝れなくて)。蚤や (とか) かあ (蚊) な (が) せせる (くいつく)、いっちょ (一度) せな (しなければ) 寝やれん (寝れない) 言うて 歌な 有りおつたわい。

のみとりまなこ(蚤取眼)【名詞】 蚤を探し取る時のように 一生懸命に見開いらいた目 (志(布施田)) [会話] ノミトリマナコ 言うて。飛ばしたた (てしまった) 言うて、こお めえ (目) ひつちやけて (ひらいて) よしわらい (葦原、畳へ) 飛んでた (でいった) 言うてなあ、ノミトリマナコで あやあれ (あれ) 言うて 蚤 取るよんなると (よくなると) めえ (目) も 飛んでた (で行った) とこ (所) 見つけんの (るのに) いっしょけめ (一生懸命) で。

のみなかま(飲仲間)【名詞】 よく一緒に酒を飲む友達 [会話] 酒飲む 仲間 ノミナカマ。

のみのきんだま【名詞】 男子の小心な事を言う ノミノキンタマ程もない (志(布施田))

のみのしんぞお【名詞】 気が小さい

のみのしんがつ【名詞】 蚤の一番多い時 (四月は陰歴の四月) (志(布施田))

のみのみよと【名詞】 女房より亭主の体が小さい夫婦 蚤の夫婦 みよと みようと 夫婦、めおとの転 結婚した男女 (志(布施田)) [会話] のみやなあ (蚤は) おんた (雄) な (が) ちつちよおて (小さくて)、めんた (雌) な (が) おつきいやんな (大きいでしょう)。そんで (それで) ノミノミヨト 言うね (言うのです)。

のみぶり(飲振)【名詞】 酒などを飲む時の態度 飲み方 [会話] ノミブリな (が) ええなあ (よい) 言うて、酒 飲むのを ノミブリな (が) ええ人 を 言うし。水飲んでもなあ がぼがぼと 旨そおん (に) 飲むのを ノミブリな (が) ええ。

のみまある(のみまわる、のみまはる)【自ラ五】 飲み

回る あちらこちらと歩き各所で酒を飲む 梯子酒をする

のみみず (のみみづ) (飲水) 飲用水 飲用 炊事に使用する水 [会話] ノミミズ 寺屋の水や (で) なけ
ななあ (なげれば) 寺屋の水で ちゃあ (茶) たくと
旨い言うて。ノミミズあ 寺屋でなあ 使い水あ
(は) わが (自分) 家の井戸のつこて (使って)。

のみもん【名詞】 のみもの 飲物 飲むための物 水 酒など

のみや (飲屋) 料理屋 飲食店 (志 (鶴方)、張) [会話] ノミヤい (に) いて (行つて) 皆、銭つこたん
ね (使つてしまうのだ) 言うて。飲んだり 喰うたり
まあ 皆して 言うて。

のみやい【名詞】 飲酒の量を競う事

のみよ 飲み方 飲酒の量 飲み様 ノミヨな足らん

のみりょう (のみれう) (飲料)【名詞】 飲酒の代金 酒代

のむ【他マ五】 承知する 承知して治める

のむくち【飲む口】【名詞】 酒ずき 酒を好む人 [会話] あや (彼は) ノムクチやよつて (だから)、酒
飲むもんで (ので)。甘党 (甘い物が好きな人) やな
いし (で無いし) 甘いもん (物) やつても はざんわ
れ (いけない) 言うて。あや (彼は) ノムクチやれ
(だ)、飲み助や (だ) 言うて。飲み助も 一緒や
(です) あやまあ (彼は) じゃあやよつて (だから)
なんもかも (すべて) 皆 のおだんね (飲んでやるの
だ)、畑もやしきも (土地) 皆 のおだんね。じゃあ
言うのは 大蛇やけど (だが) 酒飲や (は) 畑も 売
つて のおだる (飲んでやる) 家も売つて のおだる
よつて 大蛇より えらい (大変) 言うて 家も 畑
も 皆 のおだる 言うね (言うのです)。

のむん 飲む (尾)

のむんかい 飲むのですか [用例] まだノムンカイ
たいがにしておかんかい (その位でやめなさい)。

のむんやんかい 飲むのです [用例] 喉な (が) 乾い
て水よけ (沢山) ノムンヤンカイ。

のめる【自ラ五】 1) 倒れるように前に傾く。前に倒れ
かかる。2) 疲れて倒れる。[会話] 2) ノメル かい
だりて (疲れて) ノメル言うて。かいだり時も くた
ばると (疲れると)、ノメッタヨオよお言うて。メノ
ルとか、のびたとか、のさばつたてやら (とか) 言う
て へたばる 言う時も有るし (有ります)。

のも お前も 貴方も [会話] 俺も 一杯のもかいな
あ (かな)、ノモ 飲まんかれ (飲みなさい) 言うて、

お前や (だ) 言わんと (言わずに) ノモ 飲まんかれ、
此の水あ (は) 旨いわれ (です) ノモ 飲め言うてな
あ ノモ言うのは お前も。

のも 飲もう (鈴市) [用例] おらもノモ (私も飲みま
しょう)。

のもや お前もか

のもや 飲みましょう [用例] こいさ (今夜) 一杯ノ
モヤ。

…のや【接尾語】 のだ 文末について 断定を表す
(志、桑市、四、鈴市、安、津、久、一、松、上、阿、
張、度、伊、北、南) [会話] はざんノヤ (駄目なの
だ) そやまあ (それは) ほつたんノヤレ (捨てるので
す) ほつたんで (捨てるので) 置いて あんノヤ
(有るのだ) 言うてなあ、ほつたんノヤ 言うて ほ
つたる (捨てる) 言うのを、ほつたんで 置いてあ
んノヤ 言うてなあ。

のやげ【名詞】 縫いあげ ぬやげ参照 (志 (浜島、布施
田)、多、阿、張、名、鳥) [会話] 着るもん (物)
の 縫いあげる事を ノヤゲ言うね (言うのです)。
縫い上げる事を ノヤゲ。ノヤゲも おろして そや
あれ (それ) 言うて、おつちやく (横着、乱暴) する
と、引つ張つたて (てやつて) ノヤゲ おろして し
とる (して居る) 時な (が) 有るわい (有ります)、
肩ノヤゲも おろして あやれ あのたっぱい (格
好) みよまあ (見なさい) 言うて。せえ (身長) が長
いと、着物に縫い上げるやんな (でしよう) それを、
ノヤゲ言うの (のです)。肩ノヤゲや (とか) 腰ノヤ
ゲや (だ) 言うて。

…のやけど のだが のだけれど (三、安、鈴市) [用
例] 京都行くノヤケド 道知らんし (知らないの
で) おせてくれえ (教えて下さい)。

…のやし のだ (阿)

のやすみ (野休)【名詞】 田、畑の仕事が一段落して休
むこと

のやさおな だそうだ (四)

…のやったら【接続詞】 のだったら のなら (桑市)

…のやで【接続詞】 だから (四、安、津、阿)

…のやな【終助詞】 …だね だな (阿、北)

…のやに【終助詞】 です (久)

…のやにい【終助詞】 ですよ (四、鈴市、安)

…のやもんな【接続詞】 のだが のだけれど (志) [会
話] ほつたん (捨てる) ノヤモンナア 其処らい
(に) ほっときや (捨てておけば) ええやんかあ (よ
ろしい) 言うてなあ。のだけれど 言うのを。

…のやる【終助詞】のだろう(鈴木)
 …のやわ【終助詞】…のだ(鈴木、安、飯、阿)
 …のやわい。のやわな【終助詞】のですよ(四)
 …のやんか【終助詞】のです(鈴木)

のら(己等)【代名詞】お前達のおの複数(志(片田、布施田、浜島、立神、安乗)、度) [会話] ノラ言うな(のは) よけ(沢山) にげ(人間) な(が) おる時の事やなあ(です)。ノラヨ言うて、よけ おる時や(は) ノラヨ言うて。

のらくら【名詞】【副詞】怠け者 遊んでばかり居る者。のらくら者。のらくらして役に立たない人。のらりくらし何もせずにぶらぶらして居るさま。(志(浜島)とらえ所がなく漫然としているさま [会話] ノラクラモン 怠けもん(者) あや(彼は) ノラクラでまあ言うて。

のらくらもん【名詞】のらくら者 のらくらに同じ

のらげ【名詞】お前の家 貴方の家 [会話] あんたげ(貴方の家) 言うのを ノラゲ言うの(のです)。

のらせん 1) 乗らない 2) 魚が網に入らない [用例] 2) 網な(が) 破れて なんも(少しも) ノラセン。

のらよ お前達 呼び掛けの言葉 [会話] あんたらさん(貴女達) 言うのを ノラヨ 言うの(のです)。

のり【名詞】傾斜 勾配(志(立神)、一) [会話] なぞえ(傾斜)、ノリな(が) きつつい(きつい、急だ)。ノリな(が) 付いとらんで(て居なくて) 言うて、勾配付けるのなあ(のです) ノリな(が) 付いとらせん(付いていない) 言うて。土堤積んでも ノリ付けとかな(ておかなければ) 雨な(が) 降ると ぐわれてくど(壊れて行くぞ) 言うて。あんまり(あまり) きやあしやん(華奢に) しとると(して居ると) 雨な(が) 降ると ぐずれてくんど(くずれて来るぞ) 言うて。

のり(乗) 1) 調子づく事 2) リズムに乗る事

のりうつる(乗移)【自ラ五】1) 神佛、靈魂、妖怪などが人の身に宿りつく、とりつく 2) 魂を奪われる、夢中になる [会話] 1) 神さんな(が) ノリウツル、稲荷さんな(が) ノリウツル言うし(言います)。2) 友達もなあ 物凄い したし(親しい) なつとると(していると) ノリウツツテ(ていて) 言うて、じよおく(いつも) それげい(その人の家に) 行たりなあ 遊んだりするとなあ、あやまあ(あれは) あれげい(彼の家に) ノリウツツテ 今し(今) 言うてなあ。男と おなご(女) なら 惚れとんね(ているのだ)

言うねけど(のだが) おなご(女) 同志でも、男同志でも まあ 其処ばっか(ばかり) いとる(行つて居る) やんない(でしょう)、まあ 気に入つて 気に入つて いとる事を、ノリウツル。

のりこす【自サ五】溢れる(志(布施田))

のりこまれた 怒りを持って、押し掛けられた

のりこまれる 怒りを持って、押し掛けられる [会話] なんやかや(いろいろ) 事情な(が) 有つた時 ノリコマレル 言うてな、かっこまれた(怒鳴り込まれた) 言うの。こおこおや(だ) 言うてなあ 理屈を 言うてくのんをなあ(言つて来るのを) ノリコマレル 言うて。

のりこみ(乗込)【名詞】鯉船 鮪舟の水夫として乗船すること。

のりこみいわい(乗込祝)【名詞】漁船の水夫が当年始めて集まつてする顔合わせのための宴会 はつより参照 [会話] 初めて寄る(集まる) 時の事は、言いよな(方法が) 違うけど(が) 初めてのより(集まり)を ノリコミイワイとか かこよせとか言うて。こんだけ(これだけ) の、かこな(水夫が) 夏中働くね(のだ) 言う、そんな(それが) しるし(目標) やよつて(だから) ノリコミイワイ言うな(のは) 初寄りも一緒やわい(です)。

のりこみひまち(乗込日待)【名詞】漁船員が全員揃つて乗船前にする宴会 [会話] ノリコミヒマチ 言うな(のは)、かど舟(鯉舟) な(が) かこ(水夫) みな 揃えてすんの(するのです)。

のりこむ(乗込)【自マ五】1) 舟に乗船する 2) 入港する。大漁で勢いよく入港する 3) 怒りに行く。[会話] 1) 舟い(に) ノリコム。のりこんで浮けた(浮かべた) 後で来て ほられた(置き去りにされた) よお 言うて、3) そして(そうして) 会議していろいろの事言うとんのん(言っているのに) 違う人な(が) それは そおや(だ) 無いのん(に) 言うて くんのも(来るのも) ノリコム 言うやんかい(言います)。

のりこんできた 怒つてやつて来た

のりしろ(乗代)【名詞】1) 船員の基本給。乗船すれば貰える賃金(松) 2) 舟に乗せて貰つた代金 [会話] 1) 舟い(に) 乗つてだ お金 貰らうの(のを)。 かど(鯉) 舟乗つてて(て行つて) 漁な(が) のおても(無くても) のつたた(乗つて行つた) 言う 金 貰らうの(のを) ノリシロやわい(です)。2) とまあ(船代)を拂う時ん(の) のおな(のが) ノリシロや

(だ) 言うて。とまえ 拂らわな (なければ) はざん われ (いけない) 言うて 舟代や油代を どんだけ (どれだけ) でも 出そや (出しましょう) 言うて なんも (なににも) 知らん人ん (に) たので (頼んで) 乗せて もろてくと (貰って行くと) とまえや 言うて 出すの (のを) 乗せてもろた (貰った) 人が出すのを ノリシロ。

のりずし (海苔鮓) 【名詞】 海苔巻鮓 [会話] あまのりの鮓なあ (です) ノリズシ。のり巻きを 地海苔で巻いたな (のは) 旨いけどなあ (が)、あさくさのりより 島で獲ったのを巻くと また歯切れな (が) ええし 匂いも ええし (よいし) 違うけどなあ (違います)。

のりぞめ 【名詞】 1) 初めて乗る 初乗り (志 (布施田)) 2) 正月二日の同衾

のりつけほおせ (糊付乾)。のりつけほおせん 【名詞】
1) 鼻の泣き声 (志) 2) 鼻 [会話] 2) ノリツケホオセンは ほっぼどり (鼻)。ほっぼ ほっぼ ごろつき とおせ 言うて 八幡さんで 鳴きよおったけど (鳴いて居ましたが)、今しや (今は) まあ 鳴かせんけどなあ (ないが) ほっぼな (鼻が) 鳴くひい (日) は 天気な (が) ええね (よいのだ) よってん (から) そんで (それで) 糊付けて せんだくもん (洗濯物) 干せ 言う。 そんで (それで) ノリツケホオセン言うて、ノリツケホオセンな (が) 鳴くよって (から) 今日ではまあ じょおびや (上天気) どお (だ) 言うて。

のりつける (乗付) 【自カ下一】 1) 入港する 2) 乗り慣れて居る

のりて (乗手) 【名詞】 乗船員 水夫 [会話] かこ (水夫) のにげ (人間)。ノリテナ (が) のおて (無くて) 言うてなあ。あの家や (は) 大漁しやせん (しない) もんで (ので) かこな (水夫が) のおて 言うて、その舟い (に) 連れててくれ (て行って下さい) 言う にげな (人間が) 無いね (無いのです)。大漁する舟や (は) われ (自分) われ 言うて 連れててくれ 言うねけど (言うのだが)。

のりふね (乗舟) 【名詞】 棺、遺体をじかに収める容器 日本では古来漠然とふねと言った。大和時代 舟形石棺、のりの舟、法の舟、佛法で人々を此の世の苦海から救い極楽の彼岸に導く舟にたとえた語 (志 (布施田、甲賀)) [会話] がんびつ (棺櫃) ノリフネ。死んだ時に乗ってく (て行く) 舟。ノリフネ言うて 四角な舟い (へ) 乗る迄や (だ) 言うて、私ら まだまだ四

角な舟い (へ) 入れやせん (入れません)

のりまあす (乗回) 【他サ五】 乗物をあちらこちら意のままに走らせる。[会話] 熊野い (へ) 行き、波切い (に) 行き、浜島い 行きしてなあ あっちゃい (あちらへ) こっちゃい (こちらへ) 舟 港い (へ) 入れんの (るのを) ノリマアス、あっちゃ こっちゃ の 港い (へ) ノリマアス言うてな。

のりまある (のりまわる、のりまはる) (乗回) 【自ラ五】 乗物に乗ってあちらこちら回る [会話] ノリマアル 言うの (のは) のりまあしとられ (ている) 言うて、あの家や (は) せんどな (船頭が) 偉ろおて (偉くて) 波切に 売りん (に) いたり (行ったり)、浜島い (に) もてたり (持って行ったり)、熊野い (へ) 売りん いたり、なかなか、あの家 せんどあ (船頭は) えらいわれ (偉いです) 言うて。

のりもん 【名詞】 乗物 人を乗せて運ぶ物。車。駕籠など (一) [会話] 汽車や (だ) とか バスでも 自動車でも のってくの (乗って行くのを) ノリモンでいたね (行ったのだ) 言うしなあ。

のりやい (のりあい、のりあひ) (乗合) 【名詞】 のりあいの訛 1) 乗物に乗るのに我先にと急ぐこと 2) 大勢の人が乗物に共に乗ること [会話] 2) みんな (皆) のかこ (水夫) の事を、ノリヤイヤ (だ) 言うて、ノリヤイの仲間な (が) 言うやんない (言いません)、いろいろの 人な (が) 乗つとんの (乗っているのを) ノリヤイ言うねな (のです)。大勢に乗つとんのをな (てるのを) ノリヤイバスやたら (だとか) 言うやんかい (言います) バスでも。

のりやう 乗り合わず 同乗する

のる (乗) 【自ラ五】 共同でする、仲間に入れる

のる 【自ラ五】 女性と性交する (上、阿)

のる 【自ラ五】 だまされる (上、阿)

のるか そるか 伸るか 反るか 運を天にまかせる事。一か八か [会話] ノルカソルカ やって見よ 言うて、博打やなあ (です)、当るか 当らんか 知らんけど (知らないが) やって見よ 言うて。一か八か ノルカソルカ 一緒やわい (です)。

のろ 【名詞】 粘液

のろ (鈍) 【名詞】 【形容詞】 動作や頭の動きが遅い事。又そのさま、そのような人。のろま 鈍感。野呂松 動作が鈍く気の利かない事。又そのさまその人 (熊) [会話] ノロマよ 言うて うとい (間の抜けた、馬鹿な) 事 しとると (して居ると) ノロノロしとるもん (している者) を ノロよ 言うのなあ (のです)

元気な(が)無いのを ノロマや(です)。
のろい(のろひ)(呪)【名詞】他人をひどく言う事。悪口を言う事。強く恨むこと。[会話] ノロイ言うな(のは)人を呪うの、五寸釘打ったりして 人 呪うの(のを)ノロイや(です)。人を呪えば 穴 二つ言うて 祈る人な(が)、あよおってなあ(有って)崇ると あの人な(が)崇って言うてなあ。
のろい(鈍)【形容詞】動作 頭の働きの遅い。にぶい。愚鈍である。[会話] なん(なにを)したてて(しても)ノロオテ(のろくて)言うて、とろくさいの(のを)なんしたてて とろいとか ノロイとかな 一緒の意味やけどな(だ)が。
のろいくぎ(のろひくぎ)(呪釘)【名詞】藁人形などに釘を打ちつけ他人を恨む方法。又そのさま [会話] ノロイクギ言うな(のは)四十九本の祈り釘 言うやんかい(言います)。四十九本目は喉首い(に)打ったんてわいなあ(打ったそうです)それまあ打つとはざんねけど(駄目なのだが)その喉首打つ盗まれて 打たれざった(なかった)言うて しゅんとく丸(俊徳丸)の のぞきん。
のろう(呪)【他ワ五】強く恨む 他人を悪く言う。憎む [会話] ノロウね(のです)呪われて言うやんない(言うでしょう)、褥り殺したろん(てやるぞ)言うの 呪い殺す言うのな(です)。
のろくさい(鈍臭)【形容詞】いかにものろのろして居る。軽蔑の意がある 鈍い 遅い(三、松、南)
のろま【名詞】働きの悪い人 遅い人 [会話] のろのろしたる もんを(者を)ノロマよ 元気な(が)無いのを ノロマや(です)
のわけやまおろし【名詞】秋に吹く強い風 のわけ のわけは野草を吹き分ける義 おおにし参照 [会話] 昔の人ら(は)二百三十日やよって(だから)のわけや(野分だ)。野分な(が)すんで 山おろしやなあ(だ)言うて ノワケヤマオロシ。
のん【接続助詞】のに(鳥) [会話] おんな(俺が)あげん(あれ程)言うたノン おみや(貴方は)なんも(少しも)知らんねなあ(知らないのだ)言うたり、なんも おや(俺は)聞かせんノン そげな(そんな)事知らんわれ(知りません)言うね(言うのです)ノンや(だ)言うね(のです)後でなあ。
のんきもん(呑気者)【名詞】気が長い人 楽道家 [会話] ノンキモンやなあ(だ)言うな(のは)、のびとる(のんびりしている)人なあ(です)。なんも(少しも)ばたばた せんと(せずに)呑気な父さんを

ノンキモンやなあ(だ)あやなあ(彼は)。なん(なに)言うたててなあ(言っても)落ち着き かねとんねない(ているのだ)言うてなあ。
のんだ 1) 飲んだ(志、鳥、員、四、安、一、飯、松、多、上、張、度、北、尾、熊) 2) 脱いだ(志(布施田)) [会話] 脱いだと ノンダと、ノンダタネ(でしまったのだ)。²⁾ きもん(着物)ノンダダ(でしまった)言うのと ¹⁾ 酒ノンダタ 言うのとなあ。
のんだ 承知した 引き受けた
のん、だ のに
のんだくれ【名詞】酒呑み。大酒を飲み だらしく酔っぱらう。(志(浜島)) [会話] 飲んで ぐたらぐたら(愚図愚図)言うるとと(言って居ると)、ノンダクレな(が)今日は ぐたらぐたら言うたられ(言っている)言うて。酒のおで(飲んで)ぐれぐれ(愚図愚図)言うたよおな事ばっか(ばかり)言うるとと、ノンダクレな(が)あやあれ(あれ)言うて。酒 飲んで だらしない 格好しとる(している)時 ノンダクレや(だ)言うなあ(言います)。幾ら飲んでも しゃんと(正しく)しとや(しておれば)、あやまあ 幾らのおだてて(飲んでも)がいる(蛙)の面い(へ)水 掛けるよおん(に)しとられ(して居る)言う(言います)。蛙ががいる 言うの(のです)。
のんだた 1) 飲んでしまった 飲んだ 2) 脱いでしまった 脱いだ
のんだる 1) 飲んでやる 2) 脱いでやる(志(片田)) [会話] ¹⁾ たあ(田)も 畑も みな ノンダル言うて、売って ぜん(銭)にしてなあ、ノンダルとあや(彼は)まあなあ 飲み助で たあも 畑も 皆のおだたない(飲んでしまった)言うね(言うのです)。飲んでやる 酒 飲んだた(でやった)言うて。²⁾ きもん(着物)ノンダル言うのも。
のんだれ 1) 脱ぎなさい 2) 脱ぎました
のんだれ 1) 飲んでやれ 2) 飲みました
のんで 1) 飲んで 2) 脱いで のおで参照 [会話] ¹⁾ 酒ノンデ まあ、くだばっか(ばかり)まいとんねてわれ(まいているそうだ)あひた(人は)言うてなあ。
のんどく 1) 飲んでおく 2) 脱いでおく
のんどく 承知しておく 引受けておく [会話] なんやかや(すべて)おんな(俺が)ノンドクワ言うてな、こらいたる(許してやる)言うのをなあ、わり(悪い)事して 俺さい(さへ)なつとも(なんとも)言わんと(言わずに)おや(居れば)判らせんのん(な

いのに、おんな (俺が) 一人 つばき (唾) ノンドクワ 言うて。黙っといて (ておいて) やる。めえ (目) ふさんどいて (ふさいでおいて) 見て 見やん (見ない) ぶり しとくわ (しておきます) 言うねなあ (言うのです)。きもん ノンドク、水 ノンドク。

のんどけ 飲んでおけ 脱いでおけ [会話] 着物も暑かったら、ノンドケ

のんどれ 1) 脱いでおれ 2) 飲んでおれ

のんな 乗るな

のんなあ のに

のんの 乗ります 乗るのです [用例] 車い (へ) ノンノ。

のんべえ 【名詞】 酒飲みを擬人化した語 のみすけ よく酒を飲む人

のんべり 緩やかなさま 平らかなさま [会話] 斜めん (に) なつとる (なっている) のおや (のだから) すべつと しとんのおを (しているのを)、あんまり (あまり) 傾斜や (で) なしん (なくて) ノンベリ しとんのな (しているのが) なぜえん (に) なつとる (なっている)。

のんべんだらり 【副詞】 何もしないで或はつまらない事をぐずぐずやって時間を無駄にして居るさま [会話] ノンベンダラリ ノンベンダラリ言うて いつ迄しとる (して居る) はっきりせんと (せずに) しとると (していると)、ノンベンダラリと あげん (あんなに) しとて (して) はっきりせな (しなければ) はざんわれ (いけない) 言うて。はっきりせんと しとる (している) 事なあ (を)、ノンベンダラリ言うの (のです)。はっきりせな (しなければ) いつ迄そげん (そんなに) ノンベンダラリしとて (して居て) むこお (相手) いも (へも) わりのん (悪いのに) 言うて、嫁 貰いん (貰いに) 来ても 呉れる 呉れん (くれない) 言うるとと (言っていると) ノンベンダラリや (です)。

のんや のに おんな (俺が) 行くノンヤ (伊賀地方)